

第三十七回 帝國議會 衆議院議事速記錄第二十四號

大正五年二月十二日(土曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第二十三號 大正五年二月十二日

午後一時開議

第一 東洋殖産株式會社法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 (第二號)大正五年度歲入歲出總豫算追加案 (委員長報告) 第一讀會

第五 農會法中改正法律案(齊藤宇一郎君提出) 第一讀會

第六 賣藥法中改正法律案(小西和君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 質屋取締法中改正法律案(黑須龍太郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 古物商取締法中改正法律案(米田實君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 實用新案法中改正法律案(津末良介君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 蠶絲業振興發達ニ關スル建議案(今西林三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 三國港護岸施工ニ關スル建議案(名村忠治君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 取引所令中改正ニ關スル建議案(加賀野之吉君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 東北六縣國有林野下居處分ニ關スル建議案(牛谷清壽君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 安房鐵道速成ニ關スル建議案(小林勝民君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 金玉均表彰ニ關スル建議案(小林勝民君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 慢性傳染病豫防ニ關スル建議案(山根正次君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 淀川水利ニ關スル建議案(川崎安之助君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十八 濠洲及南洋ノ排日除去ニ關スル建議案(小西和出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十九 教育費國庫支辨ニ關スル建議案(鈴木萬次郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 (特別報告第五十九號)營業稅法中改正ノ請願 (委員長報告)

第二十一 (特別報告第六十二號)庄内川改修ニ關スル請願 (委員長報告)

第二十二 (特別報告第六十三號)加古川河川改修ノ請願 (委員長報告)

第二十三 (特別報告第六十四號)岩木川水害除去工事施行ノ請願 (委員長報告)

第二十四 (特別報告第六十五號)漁船避難港築造ノ請願 (委員長報告)

第二十五 (特別報告第六十六號)網走港修築速成ノ請願 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第六十七號)稚內築港速成ノ請願 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第六十九號)農業資金融通ノ請願(外七十四件) (委員長報告)

第二十八 (特別報告第七十號)農業倉庫法制定ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第七十一號)米價調節ノ請願(外七十五件) (委員長報告)

第三十 (特別報告第七十三號)廢兵傷病兵及遺族優遇ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第七十四號)姫路城西ノ丸保存ノ請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第七十六號)乃美尾村ニ郵便電信局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第七十七號)鏡石村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第七十八號)木田村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第七十九號)下之川村ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第八十號)中名田村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第八十一號)谷頭驛ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十八 (特別報告第八十二號)菅生村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十九 (特別報告第八十三號)東仙道村ニ集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十 (特別報告第八十四號)二川村ニ集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十一 (特別報告第八十五號)三ツ木村ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十二 (特別報告第八十六號)田幸村鹽町ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十三 (特別報告第八十七號)下大野村ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十四 (特別報告第八十八號)大濱村宮前ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十五 (特別報告第九十號)耳村佐柿ニ區裁判所出 (委員長報告)

第四十六 (特別報告第九十一號)脇町區裁判所白地出 (委員長報告)

第四十七 (特別報告第九十二號)下城井村安武ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第四十八 (特別報告第九十三號)上湧別村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第四十九 (特別報告第九十四號)東旭川村ニ區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第五十 (特別報告第九十五號)元福島地方裁判所若松支部復舊ノ請願 (委員長報告)

第五十一 (特別報告第九十八號)青森地方裁判所弘前支部復舊ノ請願 (委員長報告)

第五十二 (特別報告第一百六號)黑澤尻町ニ區裁判所新設ノ請願 (委員長報告)

第五十三 (特別報告第一百七號)小學校教員俸給國庫支辨ニ關スル請願 (委員長報告)

第五十四 (特別報告第九十九號)福山今市間輕便鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第五十五 (特別報告第一百十號)所子村ニ停車場設置ノ請願 (委員長報告)

第五十六 (特別報告第一百一號)廣島江津間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第五十七 (特別報告第一百十二號)野上旭川間輕便鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第五十八 (特別報告第一百十三號)厚岸網走間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

一鹿兒島縣郡部選出議員柚木慶二君死去セリ

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案

(第二號)大正五年度特別會計歲入歳出豫算追加案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 山田 珠一君 原田 十衛君 江藤 哲藏君

畜產業國庫補助ニ關スル建議案

提出者 山田 珠一君 武滿 義雄君 伊藤 恭之助君

工藤 吉次君 安田伊左衛門君 首藤 陸三君

小池 仁郎君 高杉 金作君

上越鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 須藤 嘉吉君 久須美 東馬君

信越河東鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 高島 順作君 玉井權右衛門君

外國米輸入官營ニ關スル建議案

提出者 井原 百介君 中倉 万次郎君

池田 寅治郎君 川崎 安之助君

西村 丹治郎君 上埜 安太郎君

小西 和君 吉植 庄一郎君

田淵 貞四郎君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

所得稅法施行ニ關スル質問主意書

提出者 岩本 平藏君

輕便鐵道建設ニ關スル質問主意書

提出者 根本 正君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去十日議長ニ於テ選定シタル委員會左ノ如シ

郵便法中改正法律案外三件

石田 平吉君 戶井 嘉作君 平山 午介君

山田 正年君 室木 彌次郎君 今井 喜八君

川村 惇君 中村 千代松君 牛田 唯一君

大芝 惣吉君 西村 正則君 松浦 五兵衛君

江藤 哲藏君 田中 省三君 林 平四郎君

平沼 亮三君 龍口 了信君 小西 和君

罹災救助基金法中改正法律案

川井 爲巳君 原 脩次郎君 井原喜代太郎君

岡崎 運兵衛君 中川 幸太郎君 鹽川 幸太郎君

河野 庄太郎君 今村 七平君 松本 恆之助君

裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スルノ法律案外一件

橫尾 輝吉君 小林 勝民君 豐增 龍次郎君

村松 壽君 三浦 倫吉君 安東 敏之君

大原 義剛君 高柳 覺太郎君 鳩山 一郎君

工藤 吉次君 大島 久滿次君 清水 市太郎君

廣岡 宇一郎君 田村 新吉君 九鬼 紋七君

吉田 磯吉君 高野 金重君 加瀬 禧逸君

鐵道建設ニ關スル建議案

森 環君 西田 爲之君 浦瀬 濟之君

西 英太郎君 佐々木 安五郎君 松田 源治君

山内 範造君 高山 眞平君 橫山 金太郎君

地方裁判所支部權限復活ニ關スル建議案外一件

樋口 秀雄君 福井 三郎君 奧田 柳藏君

岡 辰喜君 中野 悌治君 森山 金平君

小林 仲次君 高柳 覺太郎君 村山 金平君

田中 定吉君 丸山 豐治郎君 兒玉 好熊君

岩崎 幸治郎君 原本 大三郎君 大木 喬命君

青木 磐雄君 橫山 金太郎君 川崎 克君

殖民省設置ニ關スル建議案

井手 三郎君 互理 胤正君 護得久朝惟君

竹村 欽次郎君 萬代嘉平治君 古谷 久綱君

兒玉 亮太郎君 櫻井 兵五郎君 小 西 和君

鍋田川及水曾川ノ一部改修ニ關スル建議案

早川 龍介君 磯貝 浩君 加賀 卯之吉君

織田 了君 中山 梅治郎君 三輪 市太郎君

名村 忠治君 重盛 信近君 森田 小六郎君

岡部 政太郎君 山田 正年君 福田 民平君

中野 貫一君 小橋 藻三衛君 野村 治三郎君

渡邊 修君 小山 松壽君 尾崎 元次郎君

一委員異動 簡易生命保險法案委員渡邊新太郎君辭任ニ付其補闕トシテ飯森

辰次郎君ヲ、同委員西田庄助君辭任ニ付其補闕トシテ丸山芳介君ヲ、田畑地

價修正ニ關スル建議案委員齋藤宇一郎君辭任ニ付其補闕トシテ須藤嘉吉君ヲ

議長ニ於テ就レモ選定セリ

○議長(島田三郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、議員柚木慶二君逝去ノ報ニ接シマシ

タ、同君ハ明治三十五年以來議員ノ職ニ在リテ憲政ノ爲メニ盡力セラレマシタ、此報ニ

接シ洵ニ痛惜哀悼ノ至リニ堪ヘザル次第アリマス、例ニ依テ遺族ニ對シテ弔詞ヲ贈リ

マス、御承認ヲ求メマス

○議長(島田三郎君) 次ニ病氣ニ付今十二日ヨリ向フ二週間野村治三郎君請暇

ノ申出ガアリマシタ、次ニ今十二日ヨリ向フ十一日間青木磐雄君請暇ノ申出ガアリマ

シタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

一君ヨリ委員會ヲ開クコトノ許可ヲ申出ラレマシタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

一君ヨリ委員會ヲ開クコトノ許可ヲ申出ラレマシタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

一君ヨリ委員會ヲ開クコトノ許可ヲ申出ラレマシタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

一君ヨリ委員會ヲ開クコトノ許可ヲ申出ラレマシタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

一君ヨリ委員會ヲ開クコトノ許可ヲ申出ラレマシタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

一君ヨリ委員會ヲ開クコトノ許可ヲ申出ラレマシタ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ致シマス、簡易生命保險法案委員長小河源

總裁事故アルトキハ理事中一人其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ

職務ヲ行フ

第九條 總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ

選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ

任期ヲ二年トス

第十條中政府ヲ「朝鮮總督」ニ改メ「副總裁」ヲ削ル

第十一條 東洋拓殖株式會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一 勸業資金ノ供給

二 拓殖ノ爲ニ必要ナル農業、水利事業及土地ノ取得、經營、處分

三 拓殖ノ爲ニ必要ナル移住民ノ募集及分配

四 移住民ノ爲ニ必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借

五 會社ノ經營スル土地ニ於ケル農業者ニ對シ拓殖ノ爲ニ必要ナル物品ノ

供給及其ノ生産シタル物品ノ分配

前項第三號ノ事業ニ付テハ豫メ其ノ計畫ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘ

第十二條 東洋拓殖株式會社ハ前條ニ掲クルモノヲ除クノ外他ノ業務ヲ營

ムコトヲ得ス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 第十二條ノ二 第十條第一項第一號ノ業務ニ付テハ他ノ業務ト區別シテ

其ノ收支ヲ計算スヘシ

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ第十一條第一項第一號以外ノ業務ニ

使用スル資金ノ額ヲ制限スルコトヲ得

第十三條 第十一條第一項第一號ノ資金供給ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フヘ

一 移住民ニ對シ二十五年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方

法ニ依リ移住費ノ貸付

二 生産者ニ對シ其ノ生産物ヲ擔保トスル一年以内ノ貸付

三 三十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ不動産

ヲ擔保トスル貸付

四 公共團體又ハ特別ノ法令ニ依リ組織シタル産業ニ關スル組合ニ對シ

三十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ無擔保

貸付

五 農業者二十人以上連帶シテ債務ヲ負フ者ニ對シ五年以内ノ定期償還

ノ方法ニ依リ無擔保貸付

六 農工銀行又ハ拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ發行スル債券

ノ應募、引受

前項第一號ノ貸付ニ付テハ豫メ其ノ方法及條件ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第一項第二號ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ手形割引ノ方法ニ依ルコトヲ得

第十三條ノ二 東洋拓殖株式會社ハ定期預リ金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ定期預リ金ハ前條第一項第二號又ハ第八號ノ貸付ニ充ツル場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十四條中又ハ動産及但書ヲ削ル

第十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ舊債アル場合ニ於テ東洋拓殖株式會社ヨリ借入スル新債ヲ以テ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一順位ノ擔保ト爲ルコトヲ得ヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條中若ハ政府ヲ若ハ朝鮮總督ニ改ム

第二十五條 東洋拓殖債券ハ券面金額十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名ト爲スコトヲ得

第二十六條 東洋拓殖株式會社ハ券面金額二十圓以下ノ東洋拓殖債券ヲ發行スル場合ニハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込書ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル東洋拓殖債券ニハ商號及商法第七十三條第二號第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第二號第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

商法第七十三條ノ三第一項ノ期間ハ東洋拓殖債券ノ賣出期間満了ノ日ヨリ之ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間内ニ於ケル東洋拓殖債券ノ賣上總額及商法第七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス

賣出ノ方法ニ依リ東洋拓殖債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ賣出期間内ニ於ケル東洋拓殖債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十六條ノ二 東洋拓殖株式會社ハ賣出ノ方法ニ依リ東洋拓殖債券ヲ發行セムトスルトキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ヲ公告スヘシ

第二十九條ノ二 東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ東洋拓殖債券ヲ償還スル場合ニ於テ割増金ヲ附與スルコトヲ得

第三十條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ償還ノ場合ニ於テ割増金ヲ附與スル債券ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條中韓國政府ノ任命シタル監理官ト共同シテヲ削ル

第三十六條及第三十七條中政府ヲ朝鮮總督ニ改ム

第三十七條ノ二 東洋拓殖株式會社貸付金ノ利子及割引料ノ最高歩合ハ每營業年度ノ初ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條中政府ノヲ削ル

第三十九條中八年ヲ十六年ニ改ム

第四十一條中副總裁及副總裁又ハ理事ヲ理事ニ改メ政府ノヲ削リ同條第三號及第五號ヲ左ノ如ク改ム

三 第十二條ノ二第一項ノ規定ニ違反シタルトキ、同條第二項ノ規定ニ

基キ發シタル命令ニ違反シタルトキ又ハ第十三條、第十三條ノ二第二項、第十四條乃至第十七條ノ規定ニ違反シ資金ヲ供給シタルトキ

五 第二十三條又ハ第二十六條ノ二ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ヲ發行シタルトキ

第四十二條中「副總裁ヲ削ル」

附則

本法施行ノ際現ニ副總裁及理事タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

(內務大臣法學博士一木喜德郎君登壇)

○內務大臣(法學博士一木喜德郎君) 東洋拓殖株式會社ハ明治四十一年ニ日韓兩國ノ法律ヲ以テ設立致シマシタ、其會社ノ設立ノ目的ハ御承知ノ如ク、韓國ニ於テ農業ヲ營ミ、拓殖上必要ナル資金ヲ供給シ、又內地人ヲ韓國ニ移民ヲ致シ、其土地ノ開發ヲ計ルト云フコトニ在リマシタノデアリマス、然ルニ朝鮮併合ノ今日ニ於キマシテハ、此會社ニ關シマスル法文ノ改正ヲ要シマスル點モ少クナイノミナラズ、又其事業ヲシテ朝鮮統治ノ方針ニ吻合セシムルノ必要モゴザイマス、更ニ會社ノ金融部ヲ擴張致シマシテ、之ヲシテ勸業資金供給ノ中央機關タラシメマスル同時ニ、移民ヲ初メト致シ、水利事業、其外拓殖上必要ナル事業ノ發展ヲ圖リマシテ、更ニ政府ノ許可ヲ得マシテ朝鮮以外ニ於テモ其事業ヲ伸張スルノ運ヲ開クコトヲ適當ナリト考ヘマシテ、之ガ爲ニ會社ノ基礎ヲ安固ニ致シ、其事業ノ發展ヲ期スルノ必要上、今後八年間ヲ期シテ從來ノ補給ヲ繼續致シマスル趣旨ヲ以テ本案提出致シタノデゴザイマス、何卒御審議ノ上ニ御協賛アラント希望致シマス

○議長(島田三郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、森田小六郎君

○森田小六郎君 昨ハ委員會ニ於テ詳細ノ質問ヲ致シ積リテゴザイヌカラ、本日ハ簡單ニ二三點ニ付テ質問ヲ致シマス、我國ノ特殊會社ノ事業ノ成績ガ極メテ劣惡テ最モ不評ナルモノハ東洋拓殖會社デアリマス、此東洋拓殖會社ノ事業ガ全部失敗ニ歸シテ居ルト云フコトハ公平ナル世論デアリマシテ、又識者ノ考モ一致シテ居リマス、所謂此東洋拓殖會社ナルモノハ拓殖ノ能力ナキモノト認定スルコトガ出來ルデアリマス、此無能力ナル東洋拓殖會社ヲシテ單リ朝鮮ニ於テ拓殖事業ヲ營ミシムルノミナラズ、更ニ進シテ滿洲方面ニマデテ手ヲ延バシテ拓殖ノ事業ヲサセルト云フヤウナ、進シテ業務ヲ擴張セシムル必要並ニ理由何處ニ在ルヤ、是ガ第一ノ質問デアリマス、第二ハ東洋拓殖會社ニ補給スル所ノ三十萬圓ノ金ハ移民ノ取扱費デアリマス、然ルニ此東洋拓殖會社ノ主タル業務ノ一アル即チ現行ノ東洋拓殖會社法ノ第十一條第五號、拓殖ノ爲ニ必要ナル移民ノ補充並ニ分配トアル、此麗々シク飾ラ打ッテ出タ所ノ會社ノ移民取扱ノ業務ハドウデアルカト云フト、是亦失敗デアアル、新定員數ノ四分ノ一ニモ五分ノ一ニモ足ラザル所ノ少數ナル移民ヲ各地ニ移住セシメタノデアリマス、斯ウ云フ移民事業ニ於テ明カニ失敗ヲ致シテ居リマスル所ノ東洋拓殖會社ニ對シテ、更ニ此移民事業ヲ繼續セシムルガ爲ニ、三十萬圓ノ金ヲ補給スル、コレモ國庫ニ十分ナル餘裕ガアレバ可ナリ、然ルニ政府ノ國勢ガ非常ニ缺乏シテ居ル、窮迫ヲ告ケテ居ル際ニ此不振ノ事業ヲ續行セシムルガ爲ニ、其大ナル三十萬圓ト云フ額ヲ今後引續キ八箇年モ繼續シテ支給スル必要何處ニ在ルヤ、第二ニシテ御伺ヒシタイノハ此監督權ノ關係デアリマス、東洋拓殖會社ナルモノハ其設立當時ニ於テハ之ヲ經營スルモノハ日韓人合同デアリマス、然ルニ改正案ニ依レバ主トシテ日本人ガ、専ラ悉ク日本人ガ經營スルコト云フコトニナッテ居ル、此拓殖會社ハ朝鮮ニ在ル會社デアリマスケレドモ、殆ド内地人ノ會社ト云ッテ差支ナイ、

此東洋拓殖會社設立ノ當時今日ト比ブレバ、殆ド隔世ノ感ガアルカ如ク進歩シテ事情が違フ居ルノデアリマス、此際ニ日本政府之ヲ直轄セズシテ何故ニ朝鮮總督ニ之ヲ專管セシムルノデアリカ、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、尙東洋拓殖會社ハ資金ガ殆ド缺乏シテ居ル、固定シテシマツテ居ル、而モ資金ノ貸出ニ付テハイロ／＼ノ情實ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此點ニ於テ東洋拓殖會社ハ不信任デアル、然ルニ此會社ガ新ニ無記名利札附ノ債券ヲ發行セサル、是ハ私ノ想像スル所ニ據レバ、既ニ無能ナル亂暴ナル重役ガ、會社ノ資金ヲ支出シ盡シタ爲ニ、之ヲ補給スルガ爲ニ斯ウ云フ窮策ヲ考ヘタモノデアアル、斯ウ認メタル外ナイノデアリマス、サウシテ政府ハ一方ニ於テ滿洲銀行ト云フモノヲ今設立セントシテ居ルノデアリマス、恐クハ是ハ近キ將來ニ於テ設立サルベキモノデアアル、シテ見ルト云フト此東洋拓殖會社ニ新ニ許シタ所ノ或ル業務ハ、大ニ此滿洲銀行ノ業務ヲ紊亂スルモノデアリカト云フコトヲ第四問トシテ御伺ヒ致シマス、尙御伺ヒシタイコトハ多クアリマスケレドモ、詳細ニ於テハ委員會ニ於テ御尋ネスル考デアリマスカラ、今日ハ第四點ニ付テ簡單ニ質問シテ明確ナル御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員荒井賢太郎君登壇〕

○政府委員(荒井賢太郎君) 唯今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、第一點ノ御質問ハ東洋拓殖會社ヲ朝鮮以外ノ土地ニマデ其業務ノ擴張ヲ計ラセルト云フコトハ效力ガ無カラウト思フ、從來ノ成績ニ微シテ效力ナシト思フガ如何ナル必要アルカ(高聲ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ、ト云フ御質問ノヤウデス、政府ハ拓殖會社ヲ朝鮮ト密接ノ關係ヲ有ツテ居ル地方ニ對シテ、拓殖會社ノ業務ヲ擴張スルト云フコトハ、經營上必要ト認メテ居ル、ソレデ拓殖會社ガ從來ノ成績ニ願ミテ、斯カル事ヲ爲シテモ其効果が舉ガラウカト云フ御説デアリマスガ、政府ノ見ル所ニ於テハ拓殖會社ヲシテ斯様ナコトヲ爲サシムルノハ最モ適當ナ施設デアラウト思ヒマスカラ、此方ハ政府ハ朝鮮ト密接ノ關係ヲ有スル地方ニ於テハ拓殖會社ヲシテ働キヲサセタイ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居リマス、第二點ノ移民ノ成績ガ從來餘リ思ハシクナイガ、ソレニ對シテ尙二十萬圓ノ補助ヲ繼續スルト云フコトハ如何デアラウカ、斯ウ云フ御説デアリマスガ、是ハ政府ノ方デハ拓殖會社ノ移民ト云フコトハ尙必要ヲ認メテ居リマス、成程移民ハ當初拓殖會社ヲ設立シタ時ノ豫期ノ通りニ參ラナイノデアリマス、是ハ屢、申上ゲマシタガ、其當時ノ考ト多少實際ノ事情ガ異ナルガ爲メニ參リマスガ、サレバトテ拓殖會社ノ朝鮮ニ於ケル移民ノ效力ナイト云フコトハ申サレナイ、政府ハ十分ニ其必要ヲ認メテ居リマスカラ、今後モ此移民其他金融業務ヲ發展サセルニ付テハ相當ノ補助ヲ必要ト認メマシテ、今回法案ノ改正ヲ致スコトニシテ譯デアリマス、ソレカラ第三ニ監督權ヲ朝鮮總督ノ手ニ移シタト云フノハ如何ナル譯デアリカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ監督權ヲ朝鮮總督ノ手ニ移シハ致シマス、法文ヲ御覽下サルト分リマスガ、唯朝鮮ノ總督ガ唯今マデヤツテ居リマス、例ヘバ利益ノ分配デアルトカ、ソレカラ重役ガ他ノ業務ニ從事スル場合ニハ認可ヲ取レ、斯ウ云フコトハ業務ノ直接ノ問題デアリマスカラ、明瞭ニ致ス爲メニ朝鮮總督ト書イタニ過ギナイノデアアル、從來ト一向異ナタコトハナイ譯デアリマスカラ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ無記名債券ヲ發行サセルト云フコトハ、何等カ會社ノ資金ノ都合上發行サセルノデアリカト云フヤウ御質問デアリマスガ、是ハ會社ヲシテ金額業務ノ擴張ヲ計ラセルト云フ以上ハ、成ルベク資金ヲ得ル方法ニ便利ノ方法ヲ執ツタガ宜カラウ斯ウ云フコトカラシテ無記名債券ヲ發行サセルト云フコトニ致シマシタノデアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ滿洲銀行ト云フコトニ致シマシタノデアリマスガ、是ハ抵觸ハナイ見込デアリマス、ト云フノハ此朝鮮以外ニ於ケル業務ハ政府ノ認可ヲ經テ致

スコトゴザイマスカラ、無論其間ニ調和ヲ得ルヤウニシテ致シマスカラ、抵觸ノ憂ハナカラウ

○議長(島田三郎君) 質疑ハ盡キタト認メマス——日程第二ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉、之ヲ議題ニ致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○福田又一君 本案ヲ議長指名十八名ノ特別委員ニ付託シ審査セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、此際明治三十九年法律第三十一號中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フ委員長小山松壽君ノ請求ガアリマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、許可致シマス

○小山松壽君 右ノ委員諸君ハ決算委員會ニ御出席ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(島田三郎君) 日程第三、北海道拓殖銀行法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長金子元三郎君

第三 北海道拓殖銀行法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長)

〔金子元三郎君登壇〕

○金子元三郎君 本案ハ北海道拓殖ノ實狀ニ鑑ミマシテ金融機關ノ働キヲ擴メ、斯様ナル趣意ゴザイマスガ、實際此事業ヲ擴メマスト資金ノ乏シキヲ感ズルト云フコトガ委員會ニ於テ意見ガ出マシテゴザイマスケレドモ、是ハ更ニ他日研究スルコトト致シマシテ、本案ハ先ヅ現在ノ實際ニ於テ最モ必要ナルコトトシテ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、此段御報告ヲ申シマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ハナイト認メマス、第二讀會ヲ開クニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略致シマシテ、委員長ノ報告通リ可決確定サレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ福田君ノ議ニ決シマス、本案ハ可決確定致シマシタ、日程第四、大正五年度歲入歳出總豫算追加案、之ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——片岡直溫君

北海道拓殖銀行法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ福田君ノ議ニ決シマス、本案ハ可決確定致シマシタ、日程第四、大正五年度歲入歳出總豫算追加案、之ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——片岡直溫君

第四 案 (第二號) 大正五年度歲入歳出總豫算追加 (委員長報告)

〔片岡直溫君登壇〕

○片岡直溫君 第二號大正五年度歲入歳出總豫算追加案、即チ枚光製鐵所擴張ニ關スル豫算ノ委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案提出ノ要旨

見ニ對シテハ政府モ成ルベク早く仕上ゲルト云フコトニ對シテハ同感ナル、且又收入ノ今日ノ現況ヲ見レバ、本豫算ヲ組シテ時ヨリモ收入ハ多イ狀況デアラガ故ニ、唯今豫算ノ修正ハ出來得ナイノデアラガ、大正六年度以後ニ於テ委員ノ希望ニ副フヤウナ計畫ハ立テルコトハ出來ヤウト信ズル、即チ同意ヲスルト云フ意味ヲ表明サレタデアリマス、次ニ製鐵所ハ成ルベク民間鐵工業者ニ半製品ヲ供給スルノ目的ヲ以テ、本擴張費中製品工場及雜工場ニ割當テタル經費ノ幾分ヲ減少シ、之ヲ以テ製鐵工場及製鋼工場ノ經費ヲ増加セラレムコトヲ望ム、即チ成ルベク半製品ヲ餘計拵ヘテ民間ノ營業者ニ之ヲ頒ツトスレバ、民間ノ製鐵工場ニ於テハ相當ノ設備ヲシテ、民間ノ需要ヲ充タスコトヲ出來ラデアラウト云フ、此希望ニ對シテ幾分カ其費用ヲ其半製品ヲ造ル方ヘ重キヲ置イテ、サウシテ製品ヲ多ク仕上ゲルト云フコトニ對スル力ヲ減ジテモ、其方ヲ殖シテ欲シイト云フコトノ希望ニ對シテハ、政府ハ今豫算ヲ變更スルト云フコトハ同意ガ出來ナイノデアラ、併ナガラ半製品ヲ民間ニ拂渡シテ、營業者ヲシテ工場ヲ擴張シ民間ノ需用ヲ進メテ往クト云フコトニ對スル御希望ニ付テハ、成ルベク其希望ヲ充タスヤウナ方針ヲ執ル、且又費用ノ如キモノモ篤ト熟慮ノ上ニ於テ爲シ得ル限リノ間ニ於テ、成ルベク御希望ニ副フヤウナ方針ヲ執ル、斯ウ云フ意味ヲ答ヘラレタデアリマス、次ニ製鐵所ハ操業上成ルベク民間鐵工業者ニ半製品ヲ供給シ、以テ斯業ノ發達ヲ促進セラレシコトヲ望ムト云フ此事項ニ對シテハ、前申上ケマシタ通りノ趣旨ヲモウ一ツ明ニシテ、此希望ニ副フヤウニ致スト云フコトヲ明言セラレタデアリマス、今一ツ帝國鐵ノ自給ニ關シテハ官營製鐵所ノ擴張ノミヲ以テ足レリトスベカラズ、政府ハ速ニ之ニ對スル根本政策ヲ樹テ積極的ニ斯業ノ發展ヲ促進スルノ手段ヲ執ラシコトヲ望ム、此希望ノ決議ニ對シテハ、政府ハ趣旨ニ於テ同感デアル、併ナガラ之ヲ提出スルトキニ述ベラレタ言語ノ中ニ、政府ハ製鐵ニ關スル方針ハ全ク無キガ如キヤウナ意味ヲモ示サレタデアラガ、政府ハ製鐵ニ對スル主義方法ハ所謂自給ノ希望ト其方針ヲ以テ今日迄來テ居ルノデアラ、然レドモ鐵ヲ作ルニハ自カラ原料ガ元デアル、其原料ヲ確メズシテ其方法ヲ先ニスルト云フコトハ到底出來ナイノデアル、其原料ヲ得其製品ヲ増スノ方法ニ付テハ民間ノ營業者ヲシテ之ヲ爲サシメ、或ハ之ニ援助ノ出來ル部分ハ援助スルト云フ其方法ハ執テ居ル決シテ之ニ對シテ無方針ノ如キ趣旨ヲ持テ居ラス、即チ全ク同様ノ意見ヲ持テ居ルト云フ意味ヲ表明サレタデアル、此外ニ今日ノ枝光製鐵所ヲ半官半民ニスルカ、若クハ民營ニスルカ、目下調査中ニ屬スル、調査機關ヲシテ速ニ其決定ヲ促ストコロノ希望條項ガ提出サレタデアリマス、之ニ對シテハ反對ト明ニ意見ヲ極メテ表明セラレタ方ハ無カッタ認メマス、併ナガラ今既ニ政府ハ民營ニ移スカ否ヤニ付テノ調査機關ヲ設ケテ調査中デアル、此際ニ當テ直ニ目的ヲ定メル半官半民若クハ民營ニ移スノ目的ヲ以テ、目的ヲ定メテ此ニ希望トハ云ヒナガラ決議スルト云フコトハ實ハ熟慮ヲ要スル、此豫算ニ附帶シテ之ヲ決議シナクテモ宜イコト、思フガ故ニ、是ハ熟慮ヲ致スト云フコトヲ心中ニ保留スル、必要ガアルガ故ニ、今直ニ此場合ニ提出サレタルトコロニ對シテハ同意思ヲ表シ難シ、斯ウ云フ意思ガ多クカッタデアリマス、結局ハ採決ニ當リマシテ極メテ少數ヲ以テ否決ヲ致シタデアリマス、委員會ニ於テ希望條項トシテ決議ヲ見マシタノハ、唯今報告ヲ致シマシタコロノ通りデアリマス、此希望ノ下ニ於テ本案ニ對シテハ少シノ修正ヲ加ヘル必要モ見ズ、滿場一致ヲ以テ歳入歳出共ニ原案ニ可決ヲシタ次第デアリマス、此段御報告致シマス

(拍手起ル)
○三土忠造君 議長
○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス、吉植庄一郎君ノ通告ガアリマス

○三土忠造君 討論ノ前ニ此場合ニ政府ニ一言確メテ置キタイト思フ、重大ナ問題デアリマスカラ

○議長(島田三郎君) 三土忠造君

○三土忠造君 豫算委員會ニ於テ御尋スルノヲ忘レマシタカラ、此場合政府ニ伺ッテ置クノデアリマス、此製鐵所擴張ノ財源ハ製鐵所ノ益金ヲ以テスルト云フ事ハ今委員長ガ報告サレタ通りデアリマス、而シテ大正五年度ノ益金一般會計ニ向ケラレタル財源トシタル五百何万圓ノ外ニ、五百七十六万圓ガ他ノ擴張費ニ使フ事ニナッテ居リマスガ、六年度以後モヤハリ同様デアラウト思フノデアリマス、即チ六年度以後ノ年度割リ極メテアル金高ハ、製鐵所益金全部ニアラズシテ、一般會計ノ財源ニスベキモノヲ引去ッテ後ト、思フノデアリマス、然ラバ大正六年度ヨリ十年度迄五箇年ノ各年度ニ於テ製鐵所ノ益金ヲ擴張費ニ使フ分ノ中ニ、一般會計ノ財源ニ振向ケヤウトスル毎年ノ見込額ハ幾ラデアリマスガ、ソレヲ此場合伺ッテ置キタイノデアリマス

(農商務大臣河野廣中君登壇)

○農商務大臣(河野廣中君) 唯今三土君ノ御尋デゴザイマス、年々四百五十万一般會計ノ方ニ出シテ居リマス、其事ヲ御答申シマス

○三土忠造君 サウ致シマス各年度割ノ毎年ノ金高ハ、四百萬圓ヨリ六百萬圓臺アガキ「カアル」マスガ、平均四百五十萬圓トシマス昨年モ同様ニ二百萬圓ト云フ「アガキ」カアルト云フコトニナリマスガ、事實果シテサウデアリマスガ、其算出ノ基礎ハドウナッテ居リマスガ、重ネテ伺ヒマス

○農商務大臣(河野廣中君) ソレハ政府委員カラ答ヘサセマス

(政府委員吉川雄輔君登壇)

○政府委員(吉川雄輔君) 唯今御質問ノ一般會計ノ方ニ當テ、居リマス金ハ四百五十萬圓ト記憶シテ居リマス、詳細ノ表ヲ唯今持ッテ居リマスガ、モウ一度……

○三土忠造君 唯今ノ四百五十萬圓ト云フコトハ農商務大臣ノ御答辯分ッテ居ルノデアリマスガ、豫算ヲ見マシタ擴張費ノ年度割ガ四百萬圓臺カラ六百萬圓臺ニナッテ居ル、併シ此一番多イ年ト一番少イ年ト間ニ於テ、二百萬圓ノアガキガアル、サウシテ一般會計ハ繰入レル益金ガ四百五十萬圓デアアル、サウスル製鐵所ノ益金ガ年ニ依テ大變違フコトニナル、二百萬圓程違フコトニナリマスガ、其相違ヲ生ズルコトハ數年ノ見込デアリマスガ、其見込ヲ算出シタル計算ノ基礎ハ何處ニアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(吉川雄輔君) 此益金ヲ計算致シマシタ金額ハ、此擴張工事が漸次進ムニ從ッテ生産額モ増加致シマス、其増加額モ入レマシテ大正五年度ヨリ十年度マデ順次ニ増加ヲ見込デ居リマスガ、年度ニ依テ益金ノ額ガ違ッテ居リマス、ソレト尙一ツハ大正五年度ニ於テハ先程委員長カラ御報告ガアリマシタ通り、大正元年度ヨリ大正三年度ニ至ル二箇年度ノ平均ニ二割ノ騰貴ヲ見込ミマシタノデ、大正六年度ニハ大正五年度ノ基礎ニ對シテ七分ノ減ヲ見テ居リマス、ソレカラ大正七年度後ニハ尙大正五年度ノ基礎ニ對シテハ一割ノ減ヲ見テ居リマスガ、其年度ニ依ッテハ益金ノ額ハ異ッテ居リマス、ソレデ大正五年度ヨリ大正六年度、七年度、八年度ト、此生産額ノ違ヒマシラ點ト、其價格ノ下落ヲ見込ミマシタ點ト、雙方ガ加ッテ居リマスガ、其年度ニ依ッテ一様デハゴザイマセヌ

○吉植庄一郎君 議長

○議長(島田三郎君) 吉植庄一郎君

〔吉植庄〕郎君登壇

〔拍手起ル〕

○吉植庄一郎君 本員ハ此追加豫算ニ關シテ賛成ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、併シ甚ダ遺憾ノ次第アリマスガ、本員ノ賛成ハ甚ダ不本意デ、萬已ムヲ得ズ賛成スルノアル、即チ此豫算ノ否決セラレ若クハ豫算ノ不成立ニナルコトヲ懸念シテ、此案ニ幾多ノ修正ヲ加ヘントスル意見モアリマスケレドモ、有ハ無ヨリモ宜シ、此意味ニ於テ無イヨリモ有ル方ガ宜シト云フ極メテ輕微ナル賛成ノ意味ニナッテ來ルノデアリマス、而シテ本案ニ對シテ即チ非常ナラズ満足ヲ持テ居ル者デアル、此不満足ハ獨リ本員ノミナラズ、豫算委員總會ニ於ケル質問應答ノ狀況ヲ見マシテモ、亦唯今委員長ヨリ報告セラレタル所ノ第一、第二、第三、第四ノ希望ヲ決議シテ此趨勢ニ對シテ見マシテモ、殆ド委員ノ全部ガ本案ニ對シテハ甚ダ不満足デアツテ、頗ル遺憾ヲ感シテ居ルト云フコトハ、本員ト同感デアツタト記憶スルノデアリマス（ノウ／＼ト呼フ者アリ）私ハ一箇年二百三十萬噸内外ノ鐵ノ需用ニ對シテ、政府ノ官營製鐵所ガ僅ニ一年ニ三十萬噸内外ノ產出力ヲ有シ、輸入ハ昨年十一月以來殆ド絶對ニ止ッテ居リ、外國ヨリ鐵ノ一片ヲ取寄セルコトガ出來ナイ、此狀況ニ於テ即チ我國ガ大正五年即チ現在ニ於テ、一箇年ニ八十萬噸乃至九十萬噸ノ鐵ノ不足ヲ生ジテ居ル、此狀況ニ對シテ政府ハ茲ニ提案サレタル所ノ製鐵所擴張案ナルモノハ、何等此鐵ノ窮乏ニ對シテ當面ノ效果ヲ舉ゲルコトヲ計畫ガ、少シモ此中ニ含マレテ居ラナカッタコトヲ、先ヅ第一ニ遺憾トスルノデアリ、何トナレバ本案ニ於テハ鐵ノ產出ハ大正六年度ヨリ僅ニ五萬噸増加スルト云フノ案ニシテ、大正五年度ヨリ一噸ノ鐵モ増加スルト云フ計畫ガ、此中ニ含マレテ居ラヌノデアリ、即チ現下ニ横ッテ居ル此鐵ノ缺乏ニ對シテハ、本案ハ全ク沒交渉デアル、何等得ル處ガナイノデアリ、此意味ニ於テ本案ハ現下ノ當面ニ横ッテ居ル問題ヲ解決スルタメノ案デナイト云フコトヲ言ヒ得ルノデアリ、然ラバ此當面ノ問題ハ解決シ得ザルモノトシテモ、長ク將來ニ互ニテ、我帝國ガ鐵材ノ自給ヲ圖ルコト云フ根本ノ方針ニ於テ觸レテ居ルモノガアリ、此經綸ノ政策ノ上ニ於テ此案ガ立ツタモノデアルカト云フコトヲ仔細ニ吟味シテ見ルト、是モ亦無イ、何トナレバ我國ノ鐵ノ需要ハ明治初年以來年々ノ統計ヲ調ベテ見ルト、政府ノ答辯ニ依レバ一箇年ノ需要増加率ハ約一割デアルト云ヒ、民間營業者ノ調査シタモノヲ聞クト約一割五分ト云フ、此間ニ一割五分ノ懸隔ハ甚シイノデアリマスガ、此真中ヲ取ツテ約一割二分五厘ト言ヒ得ルノデアリ、今日百二十萬噸内外ノ鐵ヲ年々需要シテ居ル、サウスル一箇年ノ需要増加率ハ約二十萬噸ニ近イモノデアリ、十五萬噸カラ二十萬噸ノ間アルト云フコトハ、算數ノ明カニ示ス所デアリ、一箇年ノ需要ノ増加ガ十五萬噸乃至二十萬噸ノ増加率デアル、場合ニ於テ、政府ノ此計畫ナルモノハ大正六年度ニ於テ五萬噸、大正七年度ニ於テ八萬噸、大正九年度ニ於テ十萬噸ト云フガ如キ、而シテ之ヲ合計シテ最後ノ大正十一年度ニ於テ僅ニ三十萬噸ヲ増加スルト云フノデアリ、其大正十一年ニナッタナラバ、此一割二分五厘ノ増加ヲ以テシテモ、既ニ其時ニ二百萬噸以上ノ需要ガアルノデアリ、サウ致シマス、此政府ノ二十萬噸増加ノ計畫ナルモノハ、現在年々需要ノ増加スル此増加率ヲ補フニモ足ラヌト云フ結果ニナルノデアリマス、即チ無ヨリ有ハ宜シ、無イヨリモ優レト云フ極メテ最小ノ限度ニ於テ斯ナモノデモ有ツタ方ガ宜シイノデアリ、併ナガラ若シ國家ガ此鐵ノ問題ニ付テ政策ヲ定メ經綸ヲ定メテ以テ進マナケレバナラヌト云フコトガ前提ナルナラバ、本員ハ決シテ此政策ニ觸レテ居ラヌト云フコトヲ言ヒ得ルノデアリ、此永久ノ政

策——當面ノ救濟策、此二方面ヨリ觀察致シマシテ、此案ガ此何レニモ觸レテ居ラヌト云フコトハ、獨リ本員ノ遺憾トシタ所デアリノミナラズ、與黨多數ノ諸君ニ於テモ非常ニ之ヲ遺憾トセラレタコトヲ、吾々ハ看取スルノデアリ、此故ニ議會ニ於テハ小林丑三郎君等ヨリ鐵ノ擴張建議案ガ出テ居リマシテ、淺野陽吉君其他ノ與黨ノ一部ヨリハ半官半民ノ經營ニシナケレバナラヌト云フ建議案ガ出テ居ル、而シテ豫算委員總會ニ於ケル岡崎久次郎君ノ痛烈ナル政府ニ對スル彈劾ノ質問ノ如キ、若クハ守屋此助君ノ現內閣ノ鐵ノ政策ニ對スル絶對非難ノ御議論ヲ聽クニ及ンデハ、殆ド此鐵ノ政策ニ對スル內閣ノ政策ヲ非難スル聲ハ滿天下ニ滿チテ居ルト私ハ信ズルノデアリ（拍手起ル）諸君、吾々ハ何故ニ現內閣ガ斯ノ如ク國民ノ要望アルニ拘ラズ、此要望ヲ充スコトニ勇斷デナカッタカト云フコトヲ疑フノデアリマス、既ニ民間ノ營業者ニ於テハ造船學會其他ノ博士學士ノ最モ斯道ニ經驗アル人々ハ、早ク既ニ此鐵ノ缺乏ニ對シテ政府ト十分ニ交渉ヲ研究シテ、以テ應急ノ策ヲ立テントスルコトニ於テハ熱心ナル會合ヲ催シテ居ッタデアリマセヌカ、然ルニ政府ハ此專門家技術家ノ最モ鐵ノコトニ精通シテ居ル民間ノ人々ノ意見ニ少シモ耳ヲ傾ケナイノミナラズ、却テ此會合ノ進言ニ向ッテハ斷然拒絶ノ方針ヲ執ツテ居ッタデアリマセヌカ、近ク東京商業會議所ノ如キハ急ニ政府ノ緩慢ナル獎勵スルノ決議ヲ數日前ニ當局ニ進言シテ居ルデアリマセヌカ、是等ノ趨勢ハ政府ニ於テ眞ニ此絶好ノ機會ヲ捉ヘ外ニ向ッテハ我國ノ鐵ノ競爭國タル獨逸亞米利加ノ如キ——獨逸戰爭ノ結果少シモ鐵ヲ出サズ、英國亦然リ、米國ハ本國ニ鐵山ヲ持チナガラ我國ニ輸出ヲシナイ、此機會ニ於テ我國ノ鐵ノ自給ヲ圖ルコト云フコトハ最モ好イ機會デアル、而シテ政府ノ與黨ノ人々ニ之ヲ信ヅカズ、政府ノ味方デアル商業會議所ガ之ヲ信ヅカズ全國多數ノ技術家營業者ハ熱心ニ之ヲ唱道スル、内外ノ形勢此國策ヲ立ルニ絶好ノ機會デアルニ拘ラズ、此機會ヲ逸シテ六箇年ニ三十萬噸ノ計畫ヲ立テ、以テ當面ヲ糊塗セントスルニ至ッテハ、私ハ之ヲ默過スルコトガ出來ナイ、政府ハ曰ク趣意ハ同感デアリ、吾等モ亦擴張ニ異論ハナイ、併ナガラ財源無キヲ奈何、諸君財源果シテ無キカ、成程政府ノ財政ノ遺線ニハ困ッテ居ルデアリマセウ、併ナガラ官營ハ絶對ノ問題デナイ、鐵ハ官營ニセザルベカラズト云フ絶對ノ方針デアリ、若シ此絶好ノ機會ニ於テ國民ト共ニ政府ガ其政策ヲ立テントスルナラバ、財源ハ或ハ公債ノ形式ニ依リ、或ハ官民合同ノ形式ニ依リ、或ハ民營ノ方針ニ依リ、資本ハ今や日本ニ鬱積シテ適當ナル投資ヲ待ツツアルノデアリ、此日本ノ財界ノ趨勢ニ鑑ミテモ、眞ニ此計畫ヲ立テントスルナラバ、財源無キニ口ヲ藉ルコトヲ吾々ハ許スコトガ出來ヌ、又曰ク鐵ノ原料足ラズ、併ナガラ之ニ付テ豫算委員總會等ニ於ケル數次ノ質問ニ依ッテ段々之ヲ追究スルニ及ンデハ、政府ガ絶對ニ鐵ノ原料ガ無イト云フコトノ言明ハ全ク雲霧消散致シタコトヲ吾々ハ喜ブノデアリ、成程現在ノ唯今迄ハ足ラナイヤウナ形ニナッテ居ル、ソレハ此鐵ヲ製造スル製鐵所ガ少クテ、十分ニ石ヲ出シテモ買入ガナケレバ土中ニ埋ンデ居ル、併ナガラ日本ノ國內及朝鮮滿洲其他ノ方面ニ於テ最善ノ努力ヲ盡スニ於テハ、鐵ノ原料ノ缺乏セザルコトハ政府ノ明言シタ所デアリ、又サウナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアリ、然ラバ資本ノ缺乏ニアラズ、原料ノ缺乏ニアラズ、然ラバ技術上ハ是ハ出來ナイコトデアルカ、是モ政府ガ製鐵所ト云フ一ノ範圍ノ内ニ於テノ計畫ニスルナラバ、成程五年デナケレバ出來ナイ、是ハ技術上當然デアリマセウ、併ナガラ若シ此鐵ノ當面ノ需用及永久ノ政策ニ思ヒ及ボシテ完全ナル計畫ヲ立テルニ於テハ、民間ノ斯道ノ專門家モ或ハ此様ニ長キ歲月ヲ要セズトモ出來得ルモノデアルト云フコトハ明言シテ居ル、現ニ斯道ノ

大家が意見書ヲ公ニシテ、政府が六箇年間ニ費ス二千何百万圓ノ製鐵所ノ擴張費ヲ
ケテアテモ鐵ノ產額ハ五十万噸以上ニシテ、尙短キ年限ニ於テ爲シ得ルコト云フ意見
書ヲ吾々議員ニ配付シテ居ルデアリマセヌカ、唯現政府ノ爲ス所ハ加工品ニ力ヲ多
ク用井、而シテ收益ノ勘定ニ重キヲ置イテ、製鐵所ヲ自身ガ多クノ利益ヲ擧ゲント欲
スル考ヨリシテ、鐵ノ產額ヲ増加スルノ方法ニ出デスシテ、其僅ナル鐵ヲ加工シテ以テ金
高ヲ多クシテ利益ヲ擧ゲヤウト云フ、製鐵所自體ノ經營ニ力ヲ入レルタメニ斯ノ如キ案
ガ成立ツノデアル、故ニ一箇ノ製鐵所トシテ之ヲ考ヘルトキハ、此案ハ多ク非難スル所ガ
ナイト私共ハ思フ、何トナレバ製鐵所ガ特別會計ノ範圍内ニ於テ自己ノ經營ヲ全ウス
ルダケノ見地ヨリ之ヲ見レバ、製鐵所ハ此國民ノ租稅ニ依テ成ツテ資本金ニ對シテ、成
ルベク多クノ利益ヲ擧ゲテ行キタイコトハ當然ノコトデアラケレドモ、政府トシテ此鐵ノ政
策及ビ鐵ノ現在ニ於ケル當面ノ問題ノ解決ニ付テ、政策ヲ定ムル見地ヨリシテ之ヲ見
ルトキハ、此擴張案ナルモノハ僅ニ製鐵所ダケノ利益デアリテ、何等大政策ニ觸ル、所ナ
ク、當面ノ問題ニ何等ノ效ガナイト云フコトハ如何ニモ殘念千萬デアリマセヌカ、謹聽
ト呼フ者アリ、吾々ハ此意味ニ於テ三箇條ノ希望條件ヲ提出シタルデアアル、其希望條件
ハ委員長ノ報告ニ依テ既ニ諸君ノ御承知ノ通り、併シ此希望條件ナルモノハ議員ノ
アレガ最上ノ希望デアリ、最高ノ注文デアリナカッタ、唯此豫算ノ成立ニ妨ゲナク此仕
事ノ進行ニ妨ゲナイ範圍ニ於テ、已ムヲ得ザル最小限度ニ於ケル希望デアリ注文デア
タ、此故ニ此點カラ申シマシテモ議員一同ノ意向ノ何レニ在ルカ分ル、況ヤ此最小ノ
希望トシテ述ベタコトヲ鐵ノ自給ニ關シテハ、獨リ官營製鐵所ノミニ依テ足レリトセ
ズ、鐵ノ根本ノ政策ヲ定メテ以テ速ニ此計畫ヲ進ムベシト云フノ希望ナルモノハ、是ハ
吾々ノ最も熱心ニ主張シタル又贊成シタルコトモノデアアル、此點ニ於キマシテ政府ガ
縱令過去ニ於テ誤タリト雖モ、此議員ノ勸告ニ對シテ此希望ニ對シテ滿腹ノ誠意ヲ
以テ、今後其方針ヲ必ズ遂行致シマスト云フコトノ言明ヲ與ヘルニ於テハ、吾々多言ヲ
要セヌデアアル、此言明ヲ爲スナラバ吾々ハ此壇上ニ立ツヲ要サヌデアアル、然ルニ此希望
ニ對シテ守屋此助君ガ最も熱烈ナル贊成ヲ表サレタルガ、政府當局大臣ハ佛然トシテ
色ヲ作シ之ニ向テ答ヘラレタ、決シテ政府ハ無方針デアモナケレバ無政策デアモナイ、甚ダ
今ノヤウナ發言ハ穩カデナイデアアデ、決シテ政府ハサウ云フ譯デアナイト云フコトヲ大ニ
辯ゼラレタ、其結果デアアルカナイカ存シマセヌカ、遺憾ナガラ吾々ト同論者デアルトコロノ
同志會多數ノ諸君ノ中ニモ大分同論者ガアッタと思フタノニ、河野農商務大臣ノ此態
度ニ依テカ否ハ存シマセヌカ、豫算總會ノ步調ハ同志會ノ一角ヨリ崩レタコトヲ甚ダ
遺憾トスル、此ニ於テ私ハ此壇上ニ立タナケレバナラヌ、政府ガ此根本ノ政策ヲ立ツル
コトニ付テ躊躇シ、若クハ之ヲ立ツルコトニ於テ政府ハ最善ノ努力ヲ盡シタルデアアルナラ
バ、何故ニ斯ノ如キ愚劣ナル局小ナル姑息ナル、時局ニ何等ノ影響モナイヤウナ此案ヲ滿
足ナサルデアアル、政府ノ能力ハ是レ以上ニ爲スコトガ出來ナイデアリマスカ、政府ノ爲
スベキ手段ハ此ノ上ニ無イデアアルカ、否々多クアルデアアル、多クアルコトヲ手段ヲ取ラ
ズ最善ノ努力ヲ盡サズ、僅ニ製鐵所ノ儲ケタ金ヲ以テ、サウシテ製鐵所ノ儲ケタ金ノ範圍
ニ於テ、製鐵所ノ自力獨力ヲ以テ此擴張計畫ヲ立テタルデアアデ、政府ニ於テハ何等心
配サレタコトナク、何等民間ノ斯術ノ大家ト研究シテ此智識ヲ與ヘタコトモナケレバ、何
等知所ヲ以テ援助ヲ與ヘタモノモナクシテ、唯製鐵所ニ於テ自ラノ發動ニ依リ製鐵
所ノ獨力ニ依テ此計畫ヲ立ツタノデ、政府ハ全ク此問題ニ付テハ門外漢ノ如キ形ニナッ
テ居ルト云フコトヲ以テモ證セラル、議員ガ此問題ニ付テ質問スレバ常ニ製鐵所長官

若クハ製鐵所ノ委員デナケレバ、政府當局ノ中デ議員ノ質問ニ對シテ明確ナル答辯ス
ラ與ヘナカッタデアリマセヌカ、斯ノ如ク一モ二モ製鐵所ノ人ノミトナシテ居シテ、製鐵所
ケラ本位トシテ立案シタモノデアアル、此故ニ私ハ豫算總會ニ於テ言ウタ半面カラ言ヘバ、
即チ政府ハ全ク鐵ニ對シテハ無政策、無經綸ト云フコトニナルデアリナカ、此以外ニ計畫
ガナイト云フナラバ無經綸デアリナカ、無政策デアリナカ無方針デアリナカト云フコトヲ私
ハ質問シタルデアアル、私ハ必ズシモ政府ヲ責メントスルデアリ、此重大ナル現下ノ問
題、將來ノ問題ニ付テハ十二分ノ反省ヲ求メテ之ヲ黨派ノ問題トセス、之ニ對スル國是
ヲ定メテ進ムコトハ最も大切ナル問題デアルト思フカラデアアル、然ルニ政府ハ此點ニ付テ
顧慮スルコトナク、議員ノ此勸告ニ付キ希望ニ對シテ胸襟ヲ披イテ容レルカト思ヒノ外、
與黨ノ贊成者ニ對シテスラモ此言ヲ言フヤウナ狀態デ、遂ニ與黨ノ諸君ノ意見マデヲ動
カシタル云フコトハ、全ク此問題ニ付テ政府ガ誠意ヲ缺ク故デアルト私ハ甚ダ殘念ニ思フ
デアアル、殊ニ最も私ノ遺憾ニ感ズルモノハ、本年ノ此豫算ニ出シテ來タコトヲ、財源ハ、
總テ製鐵所ノ純益ヨリ出シテ來タ、第二期擴張ノ財源並ニ今回ノ第三期擴張ノ財源
ヲ合セレバ、一千八百餘萬圓デアアル、之ニ政府ノ國庫ニ收メタルアル三百萬圓、四百萬
圓、年々出ス金ト加ヘテ見レバ三千三百萬圓ノ純益ヲ擧ゲルニ、是マデ入レタ資本金
ハ四千五百萬圓、五百萬圓ニ近キモノヲ今日既ニ擧ゲテ居ル、而シテ將來ノ財源トナッ
シテ純益一千四百、五百萬圓ニ近キモノヲ今日既ニ擧ゲテ居ル、而シテ將來ノ財源トナッ
居ルモノハ唯今此壇上デ説明セラレタ通りデアアル、之ヲ資本金ニ割當テルト二割以上、私
ノチヨット計算シタルトコロデハ二割七步カリニナッテ居ル、此ニ於テ私ハ政府ニ質問シ
タルデアアル、政府ハ當面ニ於テ鐵ノ分量ヲ増加シ鐵ノ製產額ヲ増加シ、此國內ノ鐵
ノ需用ニ充タスコトガ此以外ニナイトスルナラバ、製鐵所ハ此鐵ノ分配又此鐵ノ價格ノ
昂騰ニ對スル調節、此等ノ問題ハ政府者トシテ當然ニ攻究シ且手段ヲ取ラナケレバ
ラヌ管デアアル、鐵ノ工業ニ最大最要ナル原料デアルト云フコトハ言フマデモナイコトデ、工
業獎勵ヲ以テ最も政策ノ一トシテ居ラル、現内閣ガ、鐵ノ價格暴騰ハ二倍ニモ二倍以
上ニモナッテ尙停止スルコトヲ知ラズ、即チ其需要ニ對スル三分ノ二ノ品物ハ賣ルコト
ガ出來ナイト云フ窮困ノ事情ニアル以上ハ、之ニ對シテ調節ノ工夫ヲナシ價格ノ暴騰ヲ
制シ、若クハ其分配ヲ各階級、各方面ニ按分此例ヲ以テ分配スルガ如キ、何等カノ之
ニ處スル方法最善ノ努力ヲ盡サナケレバナラヌ管デアアル、現在交戰國ニ於テ獨逸モ英吉
利モ鐵若クハ食料若クハ軍需品其他ノ問題ニ付テハ官民聯合ノ委員會ヲ組織シテ、
種々ナル手段ニ依テ此等ノ調節ヲ努メツ、アルコトハ吾等ノ聞ク所デアアル、其當面ノ問題
ニ付テ政府ハ何等カ顧慮スルコトヲガナイトハ、如何ナル譯デアアルカ、而シテ此鐵ノ價額
ハドコデ制限スルデアアルカ、政府ハ製鐵所ノ官營ニ付テ利益サヘ擧ゲレバ宜イト云フ方
針デアアルカ、或ハ程度マデニ達スレバ之ヲ調節スルノ考デアアルカ否ヤト云フコトノ私ノ質
問ニ對シテ、政府ハサウ云フ考ハ持タナイ、是ハ政府ガ廉ク賣タト云フテモ更ニ買タモ
ノガ民間ニ廉ク賣ルト云フモノデナイカラ、時價ガ騰レバ當然政府ハ其値段賣ル外ハ
ナイ、詞ヲ換ヘテ言ヘバ調節ニ付テハ何等考ヘテ居ラヌ、而シテ之ニ付テ制限ヲ與ヘル考
ハ少シモイ、而シテ其儲カシテ來テ其利益ハドウスル考カト言ヘバ、河野農商務大臣ハ是
ガ段々儲カシテ來レバ、之ヲ以テ減稅ノ資金ニ供スルコト仰セラレタルデアアル、實ニ吾々ハ空
谷ノ聲音ヲ聞クガ如キ考テ殆ド意外ノ感ニ打タレタルデアアル、而シテ鐵ノ價額ノ暴騰ハ
政府ノ經營シテ居ルトコロノ製鐵所ヲシテ際限ナク利益ヲ收メシメ、鐵ノ價額暴騰ニ對
シテ何等顧慮シナイト云フコトハ、半面ヨリ言ヘバ政府ノ收益ヲ圖ランガ爲メニ國民ニ

重稅ヲ課スルト同ジ結果ニナルデアリマス、ナゼナレバ鐵ノ需用ハ單リ民間工業者バカリデナク、國民一般ニ行キ互ツテ使ハレテ居ル、一枚ノ鐵鍋、皿ヲ買フニシテモ二倍四倍ニ價額ガ昂ジテ來ル、其鐵ヲ握ツテ居ルモノハ政府デアル、百三十萬噸ノ需要ニ對シテ三十萬噸以上ノモノヲ產出セズ、海外ヨリモ來ナケレバ此三十萬噸以上ヲ有スル政府ノ調節上ノ方針如何、即チ此鐵ノ價值ヲ左右スル此政府ノ握ツテ居ル鐵ニ於テ調節セザル以上ニ於テ、鐵ノ價格ノ膨脹シテ底止スル所ナイト云フコトハ當然デアル、是即チ國家ノ經營スル官營ノ製鐵所ノ利益ヲ増進スル爲メニ、其結果國民ニ一種ノ重稅ヲ課スルト同ジ結果ニナルデアリマス、是ハ實ニ考慮セバナラヌ問題デハアルマイカト思フ、然ルニ斯ウ云フ問題ニ付テ政府ハ何等考慮シテ居ナイ現在鐵ノ缺乏ニ對スル問題バカリデハナイ、鐵ノ價格ニ付テモ少シモ考ヘテ居ナイノデアアル、乃チドノ點カラ考ヘテモ政府ガ此鐵ニ對シテノ經綸政策ヲ認ムベキモノハ一點モ存在シテ居ナイノデアアルカラ、此政府ノ氣附カザル所ノ點ニ向ツテ、議會ハ決議ヲ以テ希望ト致シテ根本ノ政策ニ付テ努力セラレシコトヲ望ムモノ、政府ガ之ヲ容ル、ニ容ナル所以ハ何デアアルカ、吾々ハ政府ノ眞意ノ在所ヲ知ルニ苦シムノデアアル、是ニ於テ私ハ遺憾ナカラ政府ニ對シテ是ト聯關タル所ノ希望ト忠告トヲ發セザル得ナイ、元來今回ノ戰亂勃發以來歐洲大亂ノ影響ヲ受ケテ、我國ノ經濟界產業界ガ非常ナル影響ヲ受ケテ居ルコトハ政府モ認ム所デアルト思フ、然ルニ大正五年度ニ於ケル政府ノ總豫算案ニ於テモ、何等時局ニ對シテ施設スル所ガ無イ、斯ウ申シタナラバ言フデアリマセウ、現ニ染料ノ暴騰シタル爲メニ染料會社ニ保護ヲ與ヘルコトヲシタノデハナイカト仰セラレカモ、知レナイ、併ナガラ此染料會社ナルモノハ染料ノ缺乏ハ戰爭勃發直ニ起ツタ問題デアアルノニ、爾來一年有半、會社ヲ拵ヘテモ今拂込ララズバカリデアツテ仕事ハ何時スルノデアアルカ分ラナイ、會社關係ノ人ハ株ノ暴騰ニ依テ權利ヲ非常ニ暴騰シタコト云フコトデハ變利益ヲシテ居ルカ知ラナイカ、會社自體ハ時局ニ對シテハ殆ド沒交渉ニナツテ居ル、單ニ株券ヲ募集シタノミデ在リナリ、ヲ送ツテ居ル、此會社ガ出來上ツテ相當製品ヲ出スト云フ時ニハ、此問題ハ過去ノ問題トナツテシマフデアリマセウカ、此ノ如キ緩慢ナル狀態デ何時時局ニ對スル救済ニナルカ、此鐵ノ問題ニ於テモ其通り、鐵ノ問題ノ將來ニ付テ何等考慮スル所ガ無イ、是デモ時局ニ對シテ政府ハ考慮スル所アルト言ヒ得ルノデアリマセウカ、又近クハ紙ノ暴騰、紙ノ原料タル「パルプ」輸入ノ杜絶セラレタル爲メ、紙ノ價格ガ非常ニ暴騰シ來ツテ、教科書ガ二割ノ値上ラシテ居ル、教科書ノ二割ノ値上ハ國民ニ對スル一ノ稅デアリマス、是ハ高クナツタカラト云ツテ節減スルコトノ出來ナイモノデ、ドウアツデモ負擔セバナラヌ性質ノモノデアアルカ、紙ノ暴騰ノ爲メニ小學校ノ教科書ガ二割暴騰シテ、而シテ書籍新聞雜誌ノ如キ文明普及ノ利器ハ、此紙ノ暴騰ノ爲メニ如何ナル打撃ヲ被ツテ居ルカト云フコトヲ御存ジデアアルカ、是等ノ問題ニ付テハ國家ガ關稅ノ政策ニ依テ我國ノ紙ノ工業ヲ保護スル爲メニ外國ノ紙ニ對シテ關稅ヲ課シテ國家ガ長イ間助力シテ發達セシメタル所ノモノデアリマス、ケレドモ此紙ノ日本ニ於ケル製造ガ今日我國内ニ於テ、此ノ如ク暴騰シテモ海外ニ紙一枚輸出シナイデ居レバ免モ角、既ニ昨年ノ十二月前マデハ、一箇月ニ五十萬噸七十萬噸シカ輸出シナカッタ紙ガ、十二月ニハ二百五十萬噸海外ニ輸出シテ居ル、關稅ヲ保護シタ我ガ製紙工業ハ此利益ヲ得ル機會ニ於テ盛ニ海外輸出ヲ増加シテ居ル、斯ウ云フコトモ雲煙過眼ニ見逃シテ居ル、教科書ノ値上ノ問題ノ如キハ實ニ重大ナル問題デアアルニ拘ラズ、是等ノ問題ヲ御研究ニナリ調節ノ方法ヲ御執リニ

ナツタト云フコトハ吾々ハ聞カス、是ハ一例トシテ申上ケルノデアリマスガ、此戰局ニ付テハ船價ノ暴騰トナリ、運賃ノ暴騰トナリ、是ガ日本ノ物價ニ重大ノ影響ヲ及ボシテ來テ、農商務省大藏省、即チ政府トシテハ當然、官民ノ智識ヲ集メテ調査研究シ刻々ニ生ジ來ル、此變動ニ對スル政策ヲ定メルノガ最モ必要デアルト考ヘル、然ルニ是等ノ問題ニ付テ何等觸ル、ナク茫然トシテ唯官營ノ製鐵所案即チ自分ノ儲ケタ金ヲ自分ノ力ノアラン限リノ範圍ニ於テ之ヲ増シタイト云フ案ヲ捉ヘ來ツテ、僅ニ之ヲ以テ當面ヲ糊塗セントスルニ至ツテハ、吾々政府ノ誠意ヲ疑ハザルヲ得ヌデアアル、現ニ政府ハ官營事業ヲ成ルベク民業ニ移スノ方針ナリト云フコトハ屢々聲明セラレ、而シテ此方針ハ疾クニ決定シテ居ルベキ筈デアアルノニ、驚クベシ官營ノ民業ニ移スト云ヒナガラ、今日ハ保險官營ノ法案ヲ出シテ來テ居ルデハナイカ、更ニ此官營ノ製鐵ノ計畫ヲ出シテ居ルデハナイカ、而シテ滿洲日支銀行等ノ事柄ニ於テ、半官半民ノ官僚的ノ銀行ヲ拵ヘルト云フ法案ヲ出シテ來テ居ルデハナイカ、政府ハ官業ヲ整理シテ民業ニ移スト言ツタ、其方針其聲言ハ果シテ何レノ日ニ實行スルノデアアルカ、吾々ハ此ノ如キ政府ノ施設ガ支離滅裂ニシテ、何等ノ政策ナク何等ノ經綸ナク、此千載一遇ノ時機ヲアダニ看過スルト云フコトハ國民ノ忍ブ能ハザル所デアルト思フ、此意味ニ於テ吾々ハ現内閣ニ速ニ最後ノ忠告條件タル鐵ノ根本政策ヲ立テ、即チ國是ヲ立テ、以テ此當面ノ急ヲ救ヒ永遠ノ計ヲ爲サレシコトヲ、熱烈ニ勸告シテ此壇ヲ下ル者デアリマス

○議長(島田三郎君) 鈴木梅四郎君

(鈴木梅四郎君登壇)

○鈴木梅四郎君 私人本案ヲハリ贊成致シマス一人デゴザイマス、サリナガラ贊成ヲ致シマスニ付テ私共ノ提出シマシタ希望條件ガ不幸ニシテ少數否決サレマシタデアリマス、ウコデ贊成ハ致シマスガ吾々ノ本案ヲ贊成致シマス趣意ハ此ニ在ルト云フコトヲ一言附加ヘル必要ガアツテ此壇ニ登リマシタ、鐵ノ今日ノ狀況ニ關シマシテ委員長及吉植君ガ事細カニ御話ニナリマシタ、デゴザイマスカラ、私ハ此ニ蛇足ヲ添ヘマセウ、サリナガラ吾々ガ此希望條件ノ中ニ製鐵所ハ半官半民又ハ民營ニ移スノ目的ヲ以テ、官業整理ノ調査ヲ迅速ニ進行センコトヲ望ムト云フコトヲ最モ力ヲ籠メテ主張シマシタ譯ハ、此鐵ノ今日非常ニ缺乏ノ時代ニ方ツテ、國策一定ハ政友會ノ諸君アタリカラ盛デゴザイマシテ、是モ御尤デゴザイマス、併ナガラ此一ノ官營ノ製鐵所ヲ如何ニ發展セシメ如何ニ擴張致シマシテモ、此帝國ノ駸々トシテ進シテ行キマスルコロノ國運ニ伴フコロノ鐵ノ需要ト云フモノヲ、ドウシテ充スコトガ出來マセウカ、之ヲ充サウト思ヒマスルニハドウシテモ民間ノ事業ヲ盛ニシテ行カクテハナラヌ、即チ海外ノ先進國ト同様ニ此民業ノ發達ヲ盛ニセシメナケレバ、此日々ニ進シテ行クコロノ鐵ノ需要ニ應ズルダケノ鐵工業ハ出來ナイト云フコトハ、モウ二尺ノ童子モ能ク諒トスルトコロデアルト私ハ信ズル、然レバ此場合ニ當ツテ我國デハ大ナル製鐵所ハゴザイマスケレドモ、世界的ニ觀察シテ見マスレバ實ニ一微々タル製鐵所デゴザイマスカラ、此製鐵所ノ擴張ヲ七年掛テヤル位ノコトヲ致シテ、今日ノ急ニ應ズルコトハ出來スト云フコトハ、モウ論辯ノ必要モ無ケレバ熟慮ノ必要モ無イデアアル、ウレ故ニ此事業ヲ盛ニシマスルト云フニハ、ドウシテモ民業ヲ盛ニスルト云フコトガモウ第一ノ必要條件デアアル、此民業ヲ盛ニスルト云フニ付キマシテハ、今日ノ官營ノ所謂製鐵所ト云フモノハ頗ル妨害ニナルデアリマス、何故ニ妨害ニナルカ、此官營ノ問題ニ付キマシテハ先日私ハ豫算委員會ノ時分ニ四箇條ノ此官營ニ對スル根本的ノ不利ナル理由ヲ申シテ置キマシタノデ、此ニ其四箇條ヲ盡クハ申シマセウ

ガ、製鐵所ノ場合ニ最モ緊切ナル事情ヲ一ニ點ヲ申上テ見タイ、第一ニ民營ニ妨害ヲ致スト云フノハドウ云フ譯デアアルカト云ヒマスレバ、政府ノ所謂國庫ノ金ヲ以テ資本ニ致シ國家ノ信用ヲ以テ致シマスルノデゴザイマスカラ、官營ノ性質トシテ其運轉資本ト云フモノハ少シモ心配ハナイ、サウシテ此現製鐵所ハ國家ノ力ヲ以テ契約致シマスナルトコロノ所謂大冶鐵山ノ原料ヲ取テ居リマス、是ハ民間ニ於テ到底競争ノ出來ナイザルトコロノ利點ヲ以テ勸クトコロ、此製鐵所ガアリマス以上ハ、民間ニ於テ如何ニ製鐵事業ヲ起サウト致シマスモ、是ガ邪魔ニナツタナカク、起ルモノデハナイデアリマス、又ハ算數ヲ知リマスル者ハ如何ナルデモ直ニ考ヘ及ブコトデ、偉大ナル所ノ國家ノ力ヲ以テアルトコロノ此製鐵所ガ一ツアル以上ハ、今日ノ如ク鐵ノ缺乏ヲ來シテ如何ナル製品デモドノ盛ニ賣捌キ得ル時代ニハソレハ宜シイケレドモ、此商業界ノコトハ浮沈常ナキモノデゴザイマスシテ、盛業ノ後ニハ沈衰ガ來ルト云フノハ當然ノコトデゴザイマスカラシテ、此盛ナルトキト沈衰シタトキト考ヘ、長イ間ノ平均ヲ取テ事業ノ計畫ヲシテ行カナクテハナラヌノデゴザイマスカラシテ、此邪魔物ガアリマス以上ハ如何ニ獎勵致シマスデモ私ハ盛ナル製鐵事業ノ起ルコトハムツカシイコト考ヘルデアリマス、ソレ故ニ製鐵事業ヲ盛ニシマスルニハ、先ヅ斯様ナ特權ヲ持ツタコロノ官營ノ製鐵所ト云フモノヲ直ニ潰シテ、之ヲ半官半民ト云フノハ吾々ノ全體ノ希望デアリマスセウガ、民營ニ致シ、併シ半官半民デモ尙宜シイ、斯ウ云フ意味ヲ以テ此箇條ヲ附加ヘタノデゴザイマスノデ、是ハ此上ニ進ンデ申シマスセウデモ諸君ノ御了解ニナル所ト思ヒマス、更ニ今一ツ四箇條ノ中ノ御話ヲシナクテハナラヌノハ、即チ此官營ノ仕事ト云フモノハ如何ニモ活動ノ自由ヲ束縛サレテ居ル、是ガ頗ル此事業ノ發達ヲ害シテ居ルデアリマス、今日ノ如ク製鐵ノ需要ト云フモノガ盛ナル、價ガ非常ニ騰貴シテ居ルト云フヤウナ場合ニ、民間ノ事業デゴザイマスデモ、位ノ工場ヲ持テ居ルトコロノ製鐵事業デゴザイマスレバ、疾ク昔ニ擴張計畫ヲスル、増資若クハ社債ヲ以テ盛ニ十分ナルトコロノ擴張計畫ヲ致シ、六年ナド、云フ緩慢ナル計畫ヲセズシテ直ニ實行シ得ラレバケノコトヲヤツテ盛ニヤルコトガ出來ル、然ルニ官營ナルガタメニナカクソレガ出來ナイ、斯様ニモウ殆ド價ハ何倍ト云フ程ニナツテ居ルノヲ見ナガラ、先ヅ帝國議會ノ協贊ヲ得ナクテハナラヌ、帝國議會ノ協贊ヲ得ルト云フニハ非常ニ此處ニ難關ガアル、現ニ製鐵所長官ガ豫算委員會ニ於テ白狀シテ居ル通り、製鐵所ハ昨年以來非常ニ此擴張ヲ希望シテ居ラ、閣議ニモ之ヲ出シタ、出シタケレドモ財政ノ都合上カラ容レラレナイデ遂ニ昨年此豫算ヲ出ス時分ニハ計畫ヲスルコトガ出來ナカッタ、年ガ改メテ始メテ此製鐵所ノ利益ガ澤山アルト云フコトヲ證明シテ、自分ノ稼イダ範圍デアルナラバト云フノデ、始メテ此案ガ出來タト云フコトヲ明カニ説明サレテ居ル、斯様ナ譯デアザイマスカラシテ此官營製鐵所ト云フモノハ速ニ是ハ官民合同若クハ民營ニ移シ、サウシテ國ノ資本家ヲ誘ウテ此有利ナルトコロノ仕事、而モ帝國ノ重砲彈丸軍艦其他軍器ノ獨立ノ上カラ申シマスモ、亦他ノ一般ノ航海業其他工業總テノ事業ノ最大要素トナリマスルトコロノ此鐵ノ需要ト云フモノヲ、十分ニ満足ニ供給セムルニハドウシテモ此邪魔物ヲ早ク取テ民營ヲ盛ニシナケレバナラヌト云フ趣意デ、吾々ハ疾クヨリ此民營論ヲ主張シテ居ルノデゴザイマスカラシテ、委員會ニ於テモ此附帶決議ヲ切ニ希望シタノデアリマス、併シ論ヲ致シマスシテハ政友會ノ諸君竝ニ同志會ノ諸君モ是ハ反對サレナカッタ、併ナガラ反對ヲシテ何故ニ吾々ノ此條件ニ御同意ガナカッタカト云ヘバ、是ハ全ク私共ハ政略ノ爲メト考ヘル、唯今片岡委員長ハ現ニ此官

業整理デ製鐵所ノ問題モ審議シテ居ル場合デアアルカラ、民營ニ移スノ目的ヲ以テト云フ此目的ヲ定メテ云々ト云フコトニ付テハ、政府モ同意ガシ兼ルカラシテ、是ハ多數ノ贊成ヲ得ルニ至ラナカッタト云フ御説明デアザイマシタガ、實ハ私共カラ見マスルト左様ナ緩慢ナコトヲ今日申シテ居ラレハ時節デハナイノデ、此問題ニ付キマシテハ個人々々トシマシテハ同志會ノ諸君政友會ノ諸君モ皆御贊成デアザイマス、殊ニ政友會ノ諸君ハ全然吾々ト同意見デアッタノデゴザイマスカラ、此事情ヲ一言申添ヘマシテ吾々ノ贊成ハ無條件ノ贊成デナイ、殊ニ前ノ四箇條ノ附帶決議ト云フモノハ、唯臨時應急ノコト、シテ此製鐵事業ニ對スル臨時應急ノコト、シテ贊成シタノデ、一番力ヲ籠メテ居リマスルノハ私ノ唯今申シマス所謂民營ニ移スノ目的ヲ以テ云々ト云フノガ吾々ノ主要問題デアザイマスカラ、之ヲ一言添ヘテ置キマス次第デアザイマス

○議長(島田三郎君) 岡崎久次郎君

(岡崎久次郎君登壇)

○岡崎久次郎君 定足數ニ足リナイト呼フ者アリ

言フノデト呼フ者アリ諸君、唯今鈴木君カラ警告ノ否認サレタル一點、即チ製鐵所ノ速ニ民營又ハ半官半民ノ事業ニ移スノ目的ヲ以テ調査ヲ進行シト云フ此點ニ付テ段々ト御述ベナリマシタカラ、先ヅ此點カラ申上テ見タイト思ヒマス、私ハ委員長報告ニ贊成ヲ表スルデアリマス、而シテ半官半民ト云フコトニ付テ鈴木君ハ政略ノ爲メニ吾々ハ反對シタ、斯ウ云フ風ニ仰シヤイマシタガ、吾々ハ此問題ハ熟慮スベキ問題デアルト思フデアラデ、必シモ政略ノ爲メニ斯ノ如キ重要ナル問題ヲ反對シタハナイ、鈴木君ガ述ベラレタル第一ノ要點ハ枝光製鐵所ハ大ナル利權ト大ナル特權ヲ有テ居ル、官營デアアルカラ是ガアルト云フト民營ガ起ラヌ是ガ先ヅ第一ノ論點デアアル、第二ハ官業ナルガ故ニ事業敏ナラズ、ソレ故ニ速ニ民營ニ移スベシ、此二點デアリマス、ナルホド實業界ノ仕事ト云フモノハ其理想トシテハ民營ヲ尊ブデアアル、是ハ三言フマデモナイ、併ナガラ理想ト實行トハ必シモ伴ハヌ、殊ニ我ガ帝國ノ鐵業ノ如ク一種ノ變態ヲ以テ起ツタルトコロノ事業、民業デ起ルベキモノガ官業ヲ以テ起ツタ、此變態ニ起ツタ事業ニ對シテハ自ラ又順序次第方法ヲ以テ此變態ニ處スル途ヲ講ジ、而シテ後ニ民業ニ移サナケレバナラヌデアアル、此枝光製鐵所ガ今日直ニ民間ニ移サレマシタト云フハ、却チ民業勃興ノ阻碍ニナルカモ知レヌ、何故ト云ヘバ製鐵事業ノ如キモノハ第一ニ鑛石デアアル、第二ニハ大ナル資力、第三ニハ石炭、斯ノ如キ種々ノ材料ガ要ルデアアル、然ルニ枝光製鐵所ノヤウナ此大ナル利權、鑛石ニ於ケル便宜、石炭ニ於ケル便宜、資本ハ官營デアアルガ故ニ無利息、斯ウ云フモノガアルカラ民間ニ起ラヌト云フガ、斯ノ如キ便宜アルトコロノ總テノ特權ノ一大會社ヲ民間ニ起シ、民間ノ民營トシサウシテ之ニ大ナル又民間ノ資本ヲ追加シテ起シタラバ、他ノ民業ハ却チ阻碍サレルカモ知レヌ、必シモ私ハ阻碍サレルトハ言ハヌ、阻碍サレルカモ知レヌ、況ヤ各地ニ民業ハ起リツ、アル、唯今現時ニ起ツテ居ルモノハ御承知ノ通り釜石モアレバ三菱ノ兼二浦モアル、又本溪湖ノ製鐵所モアル、是ハ既ニ既設ノモノ、將ニ起ラントスルトコロノモノハ久原ノ鐵工所モアルト聞イテ居ル、又更ニ一大民間ノ製鐵所ガ今ヤ計畫ニナリツ、アルモノガアル、斯ク各方面ニ於テ計畫ガ進メラレツ、アル際ニ於テ、此枝光製鐵所ヲ突如トシテ民營ニ移シ之ニ更ニ大ナル資本ヲ加ヘタラバ、却チ將ニ起ラントスルトコロノ他ノ製鐵所ノ促進ヲ促スニアラズシテ、或種ノ恐怖阻礙ヲ來シヤシナイカ、是等製鐵ノ如キ五年七年テ利益ヲ擧ゲヤウ、五年七年經テ

初メテ其事業ニ著手セントスル場合ニ當テハ、既ニ枝光ノ如キ收益ノ上ルモノガ民營ニナルトスレバ、其處ニ資本ノ集中スルノハ極リ切ツタ話、斯クセハ新タニ起ラントスルトコロノモノ、氣勢ヲ殺グ形ニナルカモ知レヌ、此點ガ吾々ノ憂慮シタルコロデア、又此點カラ云フト官業ガ誠ニ遲ヤトシテ官業ガ甚ダ活動ガ鈍イト云フトコロノ點モ亦妙味ガアル、官業ハ甚ダ活動ガ鈍イカラ、吾々ガ一ツアレナラバ競争ガ出來ル、彼ハ有利ナル財源ヲ有テ居ル、有利ナル鑛石ヲ有テ居ルガ、アレナラバ驚クトコロガ無イト云テ民間ニ仕事ガ起ルカモ知ラヌ、是等ノ點ハ頗ル考慮スル點デ必シモ反對トハ言ハヌ、民業モ反對トハ言ハヌ、斯ウ云フ點ニ付テハ即時ニ目的ヲ定メテ直ニヤレト云フコトハ少シク早急ニ失シヤセヌカト思フデアリマス、殊ニ御承知ノ通り此枝光ノ如キハ唯一ノ財源ト頼ンデ居ルトコロノ鑛石——此鑛石ハ諸君ノ知ラル、如ク主トシテ支那ニアル、我帝國議會ガ必ズ此枝光ヲ民業ニ移スベキモノナリト萬一決議シタトキニハ、ウレナクモ困難ナルトコロノ鑛石ノ權利竝ニ將來ニ於ケル漢治萍ノ合辦、是等ノ點ニ付テハ或ハ彼ニ口實ヲ與ヘ或ハ遲延ニナルヤウニナルト云フコトハ吾々忍ブコトガ出來ヌ、是等ノ點ニ付テハ事外交ニ涉ルモノハ少シモ阻碍ノキヤウニ注意シテ事ヲ決スルノガ當リ前、若シ一阻碍トナツテ事ガ遅レルトスレバ一大障礙ヲ此ニ來サナケレバナラヌト云フヤウナコトモ無イトモ限ラヌ、又此鑛鐵所ノ問題ニ付テハ軍器獨立ト云フ問題ガアル、唯今ノ所デ軍器ガ悉ク獨立シテ居ルトハ言ヘヌ、或ハ非常ニ危殆ニ瀕スルカモ知ラヌ、是ガ研究ヲ終リ十分ナ仕事ヲスル上ニ付テハ、必シモ急ニ民營ニ移サナケレバナラヌト云フ決議ヲスルノモ、或ハ或程度ノ阻碍ヲ來スカモ知ラヌ、ウレ等是等ヲ考ヘテ見マスル決シテ反對スル意味デハナイガ、先ヅ斯ノ如キ急激ナル決議ヲ避ケテ吾々目下政府ガ官業調査委員會ヲ開キ、是ガ調査委員長トシテ現大藏大臣タル武富時敏君ガ熱心ニ執掌セラレテ居ル、故ニ此調査ノ結果ヲ待テ而シテ吾々モ亦其間十分調査ヲ進メテ、以テ相對應シテ事ヲ決セントスル次第デアリカラ、此點ニ付テ吾々ノ留保スル意味ハ決シテ政略問題ニアラズシテ、寧ロ沈思熟考ヲ欲セントスル點デアリノデアリマス、更ニ吉植君ハ贊成演說ヲ以テ頻リニ痛烈ナル政府攻撃ヲナサツタデアリマス、成程吉植君ノ御說ノ如ク吾々モ全然此案ヲ金科玉條トシテ大満足ヲ表スルモノデハナイ、併シ事ハ理想ト實行トハ行キ方ガ違フデア、實行ヲ先ヅ以テ進メナケレバナラヌ、理想ハ如何ヤウデモ論ゼラレモノデア、鐵ノ不足ヲ即時ニ滿タセト云フ御話デア、成程百二十萬噸カラ百二十萬噸ノ輸入ガアリマシテ、サウシテ鑛鐵所デア出來ルモノハ僅ニ三十萬噸乃至三十五萬噸デアリカラ、百萬噸或ハそれ以上ノ不足ガアルニ違ヒナイ、併シ吉植君ノ言フガ如ク新粉細工ヤ鉛細工デハナイカラ、直グ拵ヘロト云ツテモサウハ出來ルモノデハナイ、ウレニハ機械ノ設備モアレバ又最モ必要ナル鑛石ノ問題カラ先キニ解決シナケレバ出來ルモノデハナイ、鐵ハ欲シモノデアケレドモ出來ナイコトヲ何デモヤレ、ウレヤラナイカラ政府ハ甚ダ不忠實デアルト云フガ如キハ殆ド聞クニ足ラナイ、政府ガ此第二期擴張ヲ行ツタノハ四十年間二千五百萬噸ノ鑛石ト、又四十年間二八百萬噸ノ鑛鐵ヲ太治ト漢治萍トノ契約ニ依テ、之ガ基礎トナツテ擴張ガ出來タ、其契約ハ二年以前ニナサレタ、是ハ即チ政府ノ達觀デア、或ハ前々政府ガヤラレタノデアルカモ知レヌ、免ニ角達觀ヲ以テ鐵ノ前途ヲ見タカラ此契約ヲシテアッタ、是ガアラズンバ今日何ト云ハレテモ更ニ擴張ハ出來ナイ位デア、然ルニ何ゾヤ第二期擴張ハ一箇年間延期ヲモラレタノデア、何ノ目的デアルカ知レヌ、行政整理ノ目的カ、財政整理ノ目的カ、何カノ理由ニ依テ第二期擴張ハ一箇年間延期ヲモラレタノハワモ何レノ政府デ

アツタカト云フト、政友會ノ諸君ガ所謂我黨内閣ト稱セラレタル所ノ内閣ニ依テ延期サレタノデハナイカ、此第二期擴張ガ一箇年間遅レヌニ進シタラバ、今日鐵ノ供給ハ殆ド十萬噸位ハ殖エテ居ル筈デア、然ルニ延期ヲサレタ、自カラ延期ヲシタル理由ニ付テ顧ミズニ、唯無暗ニ今日之ヲ直グ鐵ヲ拵ヘロト云ツテモ、是ニハ鑛石ノ問題ト設備即チ機械ヲ拵ヘナケレバナラヌ、此機械モ亦即時ニ拵ヘルコトハ出來ナイカラサウ急ニハ出來ナイ、最善ノコトヲシテサウシテ茲ニ提案サレタモノト吾々ハ見做ス、サウシテ吉植君ヨリ鐵價ノ調節ヲシロト云フ、是亦進モ出來ルコトデハナイ、鑛鐵所デ事實安ク賣ツテモ鐵ソレ自身ガ缺乏シテ居ルカラ安ク賣ツタ所デアク賣ル理由ガナイ、恐ラク何人ト雖モ斯ノ如キコトハ言ハズシテ分ツテ居ルト思フ、所謂需要供給ノ關係ニ依テ定マルモノデア、殊ニ況ヤ分配ニ至ツテハ寧ロ滑稽デア、橋桁ヲ一部造ツテモ宜イ、或ハ船ヲ半分造ツテモ海ニ浮ベナケレバナラヌト云フ如キデ分配ノ調節ハ出來ルモノデハナイ、斯ノ如キ問題ハ私ハ強イテ抗辯ハ致シマセヌ、唯最後ニ私ハ農商務大臣ニ特ニ御注意申上ケタイノハ、此議會ガ警告シタル四箇條ノ警告デア、是ハ最モ重要ナル意味ヲ以テ警告ヲ申上ゲタノデゴザイマス、是デケハ堅ク申上ゲテ置キマス、殊ニ此豫算對スル全會一致ヲ以テ贊成ヲ致シタ上ノ警告デア、極メテ權威アル警告ト御承知ヲ願ヒタイ、唯吾々ハ現農商務大臣ハ立憲政治家ノ農商務大臣タル人ハ、必ズヤ言行一致スル人、及ヒ此鐵ノ前途ニ就テハ最モ熱心ニ又最モ親切ニ、今ヤ鑛鐵ノ製造ニ付テ御研究ニナツテ居ル農商務大臣政黨出身ノ此立憲的大臣デアリカラ、定メシ此警告ハ極メテ權威アルモノトシ而シテ必ズ實行サレベキモノトシテ、全然此方デア出來ナケレバモウ總テ人事ヲ盡シテ出來ナイモノト信ズルデアリマス、(拍手起ル)故ニ此警告ニ付テハ何卒最モ注意ヲ御拂ヒアラムコトヲ切望シテ已マヌデアリマス

(拍手起ル)

○福田又一君 此追加案ニ對シテハ委員長ノ報告通り可決確定アラムコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(島田三郎君) 最早討論ハ盡キマシタ

(農商務大臣河野廣中君登壇)

○農商務大臣(河野廣中君) 本案ニ對シテ段々吉植君ヲ先頭ト致シテ贊成ノ意味ヲ以テカ、反對ノ意味ヲ以テカ、能ク分リマセヌガ、贊成ノ意ヲ以テ云フト段々ト述ベラレマシタガ、獨リ此鐵ノ法案ノミナラズ各省ニ亘ツテノ攻擊ト申シマセウカ、種々御說ヲ拜聽致シマシタ、其宜シカラザルモノハ更ニ取リマセデアリマス、其是ナリト信ズルモノハ何人ノ口ヨリ出マシテモ之ヲ採用致シタク私ハ平生考ヘテ居リマス、而シテ尙此鐵ノコトニ付テ戰爭勃發以來鐵ノ不足ガ眼ニ見エテ居ル、而シテ此鐵ニ對スル應急ノ途ヲ立ケンケレバナラヌノニラ立テナイ、是ハ宜シクナイ、又永遠ノ方針モ立テナイ、是モ宜シクナイ、殊ニ段々御述ベニナツタ言々句々ノ間ニ於テ御經綸ノ一端トシテ何フコトモ出來マスガ、併シ一國ノ事柄ヲ必要不足若クハ過剩ノ爲ヲ以テ之ヲ調節スベキハ政府ノ任務デアルト云フコトハ、是ハ政府萬能ノ主義カラデモ出テ來ヤセヌカト私ハ考ヘテ居ルデアリマス、不足ノ爲ニ心配スルノモ宜シウゴザイマス、無論センケレバナリマス、又剩リアルトキニ當テ過剩ノモノガ妨ケラナサレバ、之ヲ捌ケル途モ講シナケレバナリマス、又剩リアル力デ能ク之ヲ爲シ得ラレモノデア、ヤ否ヤハ是ハ御推察分ル筈デア、ウト思フデアリマス、斯ノ如キコトヲ今日ノ場合——今日ノ場合デハナイ、即チ是デケ時勢ノ發達シタ場合ニ於テ政府萬能ノ主義ヲ取ルコトハ到底イカヌコト、思ヒマス、ソ

コデ鐵ニ對シテ方針ガサッパリ無イト云フ御非難ヲナサルノハ御隨意次第アルケレドモ、政府ノ方針トシテ今日通リニアルコトハ、委員會ニ於テモ或ハ問ニ應ジテ皆政府委員等ニ於テモ御答ヲ致シ、又私自身ニ於テモ御答ヲ致シマシタ、之ヲ繰リ言ナガラ此ニ於テ申述ベテ置カヌト云フト甚ダ誤解ヲ惹起スノ虞ガアリマスカラ申述ベルノ必要ガアリマス、鐵ノ方針ニ對シテハ所謂此官業ノ部分ハ今回ノ第二期ヲ以テ之ヲ終リト致シ、即チアトハ擴張ヲ致スノ趣意ハナシ、斯ノ如ク申シマシタ、是ガ所謂官業非官業ノ元ハ此處ニ生ジテ來ル、一面ニハ官營ノ處分ニ付テノ委員會ガ開ケテ居ッテ、委員會ハ未ダ此決定ヲ致シマセヌデアリマス、然レバ官營非官營ノ點ニ付テ俄ニ決スルコトハ出來ナイ、而シテ鐵其モノニ對シテ今日窮迫ヲ告ゲテ來タ、能ワジケノコトハ之ヲ爲サウト云フコトハ鐵ヲ増加スルニ付テハ、唯徒ニ出來ハセヌデアリマス、唯出鐵量ヲ幾ラト見タ所ガ鐵ハ出來ヌノデ、速ナルヲ要ストシテ見タトコロガ今ノ機械ハ海外ニ頼ムベキ部分ガアル、今日ノ場合直グニ之ヲ据付ケル譯ニハ往カヌデアアル、相當ナル月日ハ此ニ待タナケレバラス、致シマスレバ唯其所ハ既成品ヲ買入レルニシテモ急ニハ參ラヌデアリマス、又此事業ヲ起サウトスレバ現在アル所ノ工場ニ就テ見テモ、其地形カラ直サナケレバ出來ヌヤウナコトニナリ居ル、是ニ多少ノ月日ハ掛カルデアアル、而シテ小サナモノデアリマシテモガカノ急ニ往カヌ、ソコデ此三十萬噸ノ増加ヲシヤウトスルノニ如何ニシテモ五箇年ヲ過ギヌケレバ出來ヌ、ドウモ多少ノ不十分ノ所ガアルカモ知レヌ、旁、財政上ノ都合ガアルト云フノ六箇年ノ繼續ヲ以テ此事ヲ致スト云フデアアル、ソコデ此官業ヲ以テヤッタカヤラスカトカ、之ヲ大層ナ一龐大ニシヤウトカシマイト云フコトハナカノ種々ノ關係ガアッテ往カヌノデ、凡ソ鐵ヲ造ルニハ鐵石カラ考ヘナケレバナラス、鐵石ハ何處カラ持ッテ來テコナスカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナリマセヌ、今日此枝光製鐵所ノ鐵ハ多クハ漢冶萍ノ大冶ノ鐵ヲ以テ基礎ト致シテ居リマス、是ハ年々研究シテ即チ契約ニ依テ此鐵ハ使用シテ往カヌケレバナラス、ソコデ鐵ハ四十箇年ニ千五百萬噸ト云フ、銑鐵ノ方ハ八百萬噸ト云フ契約デアリマス、之ヲ基礎トシテ此製鐵所ハ立ッテ居ルデアリマス、ソレデ不足ヲ告ゲル所ハ即チ朝鮮ノ鐵ヲ使ッテ今日來ッテ居ル、是カラ三十萬噸ヲ擴張シテ往テ恰度此契約ノ四十箇年ニシテ千五百萬噸ト八百萬噸、斯様ナ次第デアリマス、ソレデ是レ以上ニ擴張ヤウトスレバ更ニ鐵石ノ元ヲ造ラナケレバナラス、ソレデ今日ノ計畫ハ三十萬噸ニ止メタ所ノモノハ多クハ鐵石ノ關係、是ガ大ナル原ヲ爲シテ居ル、此鐵石ノ豫算ガ基礎固カラズシテ而シテ擴張ハ出來ナイデアリマス、ソコデ鐵石ノ基礎ニ依テサウシテ此三十萬噸ノ擴張ヲ致シ、是ト同時ニ又製鐵所ハ枝光ニ於テ——枝光ノ擴張ト云フコトニナリマスレバ彼ノ地形上ヲ見ヌケレバナラス、彼ノ地形上ニ於テハ今日第三期ノ擴張ヨリ以上ノ擴張ハ出來ナイデアアル、斯様ナ故ヲ以テ今回ノ第二期擴張ト云フモノハ三十萬噸トシタデアリマス、ソレカラ此鐵石——是ハ枝光ノコトデアリマスガ鐵ノ將來ニ付テドアルカ、鐵ノ不足ナルコトニハ痛心ヲ致シテ居リマス、心配致シテ居リマス、ソレデ此方針ノ一トシテ官營ノ如キハ第三期ノ擴張ニ止メテ、アトノ不足ハ民間ノ企業ニ待タンケレバナラスト云フ、即チ數年來事業官營ト云フモノハ甚ダ宜シクナイト云フ説ガ往々聞ヘテ居ル、政府モ亦是ニ聞ク處ガアッテ是ガ整理委員會ヲ拵ラヘタノデ、斯様ナ場合デアリマスルカラ縱シ大ナル事業ガ出來タニシテモ、多少ノ考慮ヲ加ヘナケレバナラスノハ官營ノ事柄デアアル、ソコデ此官營ハ此ニ止メテ、即チ此考ヲ定メテ、鐵ノ政策ノ一トシテ官營ハ是ニ止メテ足ラザル所ノモノハ民間ノ事業ヲ獎勵スル、單リ獎勵スルト云フト語弊ガアリマスガ、民間ノ有力ナル人或ハ一人トハ申シマセヌ、數人

今此業ヲ起サウトシテ、ソレノミナラズ數人各種ニ考ヲ定メテ居ル、而シテ此成ラントスル場合ニ當テモ十分ニ此企業ヲ爲シ能ハザル所以ノモノハ何ノ點ニアルカト云ヘバ所謂此原料、鐵ノ鐵石其物ヲ得ルニ苦シムデアアル、御話ノ通り今日ハ資本ヲ得ルコトハマダ易イデアリマセウ、併ナガラ此基ヲ爲ス所ノ原料其モノニ付テ得ル所ノ途ガナシ、是ガ無ケレバトモ此事業ハ成立タヌデアリマス、農商務ノ見ル所ハ即チ製鐵ハ基礎ヲ鐵石ニ置カケレバナラスト斯ウ定メテ居ルデアリマス、又枝光製鐵所モ即チ鐵ノ鐵石ヲ基礎トシテ是ガ引取レル引取レナイガ即チ基ヲ爲スデアリマス、將來ニ於テ鐵ノ事業ヲ大ニ發達セシメヤウトスレバ則チ此基礎ニ顧ミナケレバナラス、ソコデ此基礎ニ付テ鐵ノ鐵石ヲ得ントスレバ、是ハ遺憾ナガラ我ガ日本ノ現狀トシテハナカノ内地ニ求メルコトハ出來ヌデアリマス、ソレデハ絕對ニ無イカト云フ此間ノ御尋ネデアリマスカラ、絕對ニ無イトハ言ハヌ、日本ニモ諸方ニ鐵山ハアル、サアアルト云フコトヲ申述ベレバ則チ探ッテ來テ直グニ是ガ今日ノ用ヲ爲スカノ如キ感ヲ起サレル、是ハ淺見ナ御考デアアルト斯ウ見ンケレバナラス、ソコデ今日鐵ノ大事業ヲ起サウトスレバ豐カナル此基礎ノ上ニ置カンケレバナラス、即チ鐵石ノ豐カナルモノヲ以テ基礎トシテ定メンケレバナラス、之ヲ得ルノ途有リヤ無シヤガ即チ問題デアアルデアリマス、有リヤ無シヤト云フト絕對ニ無イデアリマス、此處ガ大切、先年來鐵ノ問題ニ付テハ農商務省トシテモ日本内地ハ各地ヲ歩キ、加之朝鮮ナドニ於テモ技師ヲ派シテ——出張ヲモ致シテ——併ナガラ相當ノ原料ハ未ダ十分ニ得ナイデアアル、昨今民間デスノ業ヲ起サウトシテ起ラヌモノ此鐵不足ノタメデアアル、ソコデ今日ハ此原料ヲ得ヤウトスルノ目的トシテ頻リニ調査ヲシテ居ル上ニ、此完成ヲ速ナラシメナケレバナラスト云フ即チ鐵ノ調査ヲ完成シナケレバナラス、之ヲスル、ソレカラ續イテ來ルモノガ始メテ此基礎ニ置イテ心配ガナイト云フ所デ、是カラ安シクシテ此企業ヲ爲サシケレバナラスト云フ斯ウ云フ順序ニナッテ參ラウト思ヒマス、併ナガラ是ハ大體ノコトヲ廣イ意味ヲ以テ申上ゲマシタノデ、所謂二百萬トカ三百萬トカ云フ鐵ノ需用アル唯今ニ際シテ、之ヲ充タスノニ如何ニスルカト云フ所以ニ互リ方針ヲ立テ、居ル、ソコデ即チノ事柄ニ付テ企業ヲ爲ス人ニ對シテハ力ノアラン限リノ獎勵モシ助力モ與ヘ、鐵ノ事業ヲ起サウトスレバ今日ニ企業ヲスレバ、單リ製鐵所デ出來タ、ソレデケテハ足ラヌノ原料モアル、今日デモ足ラヌデアアル、是モ亦技師ノ——技師其人ヲ得ヌケレバナカノ失敗ノ多イデアリマス、今日マデ製鐵所ガ幾遍カ損失ヲ致シテ來タケレドモ、技師及其職工ノ馴レヌモノ與ッテ力アルヤウナ次第デアアル、故ニ此將來ニ今事業ヲ起サウトスレバ一二年ノ後ニアラザレバ起ラヌ、其間ニ技師ノ養成職工ノ養成ヲセシケレバナラス、之ニ對シテ宜シク之ヲ養フ途ヲ講ゼンケレバナラス、即チ製鐵所ニ於テドウカ此企業者、民間ニ業ヲ起サウトスル人ガアレバ、是等ノ便利ヲ與ヘテ行カンケレバナラス、是ハ勉メヤウニシテ居ル、或ハ設計其他ニ付テ免ニ角製鐵所ハ經驗ガアルカラ、此設計等ニ付テモ十分ナル力ヲ注ガウト云フ百般ノコトニ付テ此力ヲ盡シテ今日業ヲ起サント企テル人ニ付テハ、便利ノアラン限リハ便利ヲ與ヘ力ノ及ブダケ力ヲ與ヘヤウト云フ方針デ、即チ此民間ノ製鐵事業ノ起ランコトヲ計ッテ參ルデアリマス、斯様ナ次第企圖アル毎ニ進ミヲ付ケンケレバ宜シキ進ミハ付カヌデアリマス、ソコデ斯様ナ方針ヲ以テ往クデアリマス、唯之ヲ徒ニ之ヲ早メテ往カウト云フテ見タ所デ、百般ノ事柄ガ具ハランケレバ出來ナイデアアリマス、ナカノ一朝一夕ニ出來ル問題デナイト思フ、斯様ナ趣意デアリマシテ決シテ之ヲ等閑ニスルトカ、或ハ方針無シニ進シテ往カウト云フノハ決シテナイノデ、又段々委員會ニ於テ御説ヲ伺ヒマスレバ、唯違フ所ノモノハ此ノ如キ方針ヲ以テ農商務省ハ進シ

テ來タガ、其點ニ付テ唯其御趣意ガドウナリマセウカ、御要求即チ御希望ト云フ箇條ニ付テ見マシテモ、大略私共ハ異存ハナイト云フコトノ御答ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯非難ハ——先刻來ノ御非難ハ此未ドウスルカト云フ、ドウスルカ、即チ斯様ナ方法ヲ以テ進シテ往テ最モ此即今ニ於テ起業ノ——業ヲ起サントスル人ガ屢、方ヲ入レテヤッテ居ル、或ハ久シカラザル間ニ此事が成就シマセウ、即チ是モヤハリ原料ヲ得ル、即チ鐵山ヲ得ルト云フ上ニ付テ力ヲ注イテ居ル、即チ鐵山原料其モノヲ得マシタナラバ即刻會社ノ成立ヲ見ルコトガ出來ルダラウト思フ、左様ナ次第デアリマスルカラ、決シテ怠ッテハ居ラヌノデ、ウコデ又今度ハ政府ガ此業ヲ大キクシヤウトスルカ、大キクスルコトハ原料ニ於テ差支ヘル、左様ナ次第デアアルノミナラズ一方ニ於テハ之ガ官營ニスルカ、民營ニスルカ、即今委員會ヲ組織シテ政究中ノ問題デアル、此ニ於テ之ニ對シテ御答ヲ此ノ如クシヤウトハ爲サントシテ能ハザルコトデアルノデ、其趣ハ御答ヲシテ居ルノデ、サウ云フ次第デゴザイマシテツレガ足ラナカッタカラ速ニ政府デヤレ、此不足ヲ告ゲテ來タカラ此ノ如クセンケレバナラヌト云フノハ、御論トシテハ誠ニ結構デゴザイマスルケレドモ、併ナガラ事實トシテハ甚ダ容易ナラザルコトデアラウト思フ、御論ヲ爲サイマスル其人ト雖モ、然ラバ突啞ノ間ニ如何シヤウト云ヘバツレハ能ハザルコトガ生ジテ參ルデアリマセウ、理想トシテハ大層結構デアリマセウ、又此ノ如クシテ此ノ如クスレバ一向出來ルデナイカト云フコトノ論シ來リ論シ去ルハ大層宜シウゴザイマセウカ、事實ハサウ運ビマセヌ、無キモノヲ有ルト云フ譯ニ參リマセヌノデアリマス、種々ノマダ諸方面ニ對シテ、内閣ノ各省ニ向ッテノ御攻擊ガアリマシタガ、是亦同フ所ニ依レバ大略ドウモ唯今申上ケマシタ通りノ事デ、事實トシテナカノムツカシイコトガ多カッタト存ジテ居リマス、之ヲ私ガ別段此ニ於テ其論ニ對シテ申上ゲル必要モ何モナイ、此鐵ニ對シマシテハ無論無方針ト云フコトハ方針ガ宜シカラザルナレバ宜シカラスト云フコトモアリマセウカ、併ナガラ無方針ト云フコトハナイ、又鐵ノ原料ヲ得ラレズシテ拵ヘル途ハアリマスマイ、ツレガ出來レバ結構デアリマスガ輒ツレガ得ラレハウニ私ハ信ジナイ、ウコデ御論トシテハ甚ダ論議イケレドモ多クハ實行シ難イ、御論ニ歸シハセヌカト考ヘマス、ヤハリ私ハ此方針ヲ以テ進シテ參ッテ御希望ノアル所ニ對シテ、而シテ此希望ヲ充タス方針コソ最モ宜カラウト存ジテ、先日來其御協議ノ結果ニ對シ御同意ノ出來ルダケハ御同意申シタイ、殊ニ年限ヲ縮メル如キモ誠ニ希望致シテ居ルノデアリマスカラ、之ガ財政上ニ關係ヲ持チマスカラ此ニ於テ確答ハ申上ゲラレマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置イタガ其通りデアリマス、併ナガラ事實ニ於テハドウカ五箇年位ノ間ニ成工致シタイト云フノハ私ノ滿腹ノ考デアリマス、左様ナ次第デアリマス（拍手起ル）併ナガラ又私ハ吉植君ノ御話ノ中ニ奇怪ナ念ヲ懷イタコトガアル、鐵ノ價ヲ廉クセヨ、鐵ノ價ヲ調節セヨト云フコトデアル、調節甚ダ宜シイ、如何ナル方法ヲ以テヤリマスガ、先ツ私共ニ於テハ方法ガ無い、斯様ニスレバ斯様ヤツト云フ即チ一二箇條ヲ擧ゲテ御話デアリマシタガ製鐵所ガ價ヲ廉ク賣ル、造船所ヘ賣ル、船板ヲ——所謂厚板ヲ造船所ヘ賣ル、之ガ一割ニ割廉ク賣リマシタラ其船ノ價ヲ廉ク賣リマセウカ、其他ノ所ヘ對シテ廉ク賣ルトシテモ一般ノ市價ヲ制スル力ヲ持タズシテ、又多少輸入ノアル此場合ニ方ッテ所謂需要供給ノ關係カラシテ來タノデアルカラ、專賣ヲ爲スニアラザレバドウシテモナカノムツカシカラウト思フ、加之或場合ニ製鐵所ガ廉ク賣ッテ所デ、其廉ク買ッテ人ガ之ガ分配ヲ宜シク一般ノ需用者ニ向ッテ平均ナラシメルコトデアラナラバ甚ダ妙デアルガ是ハ出來マスマイ、ノミナラズ又之ヲ或ル一面カラ云ヘバ製鐵所ニ價ヲ廉ク賣レト云ヘバ何人カニ金ヲ儲ケサセヨト云フ道理ニ往キハセヌカト云フ嫌ヒヲ持ッテ居ル、ウコデ唯今執ル所ノ方針

ハヤハリ此通りニ往カウ、此通りヲ以テ進シテ參ルヨリ他ニ途ハナイ、而シテ之ガ進シテ參ッテ所デ吉植君ノ憂ヒトスル所ノモノガアルカハ知ラヌケレドモ、公平ニ寧ロ分配ガ屆クト云フ意味ヲ以テ、製鐵所ニ對シテ多年ノ間政府ガ費用ヲ投ジテ、即チ損金ヲモ埋メテ今日マデ維持シ來タ、漸ウ昨年アタリカラ金ガ儲カリ始マッテ來タ、而シテ此金ヲ儲ケルトコロノ趣旨デナシニ分配シヤウトシテモ、前段ノ如ク此分配其宜シキヲ得ナレバ却テ弊害ヲ生ズルノデアル、其途ヲ得ズシテ國庫ニ納メテ參レバ——國庫ニ利益ヲ納メレバ多年ノ間損失ヲシ來ッテ所ノ人民ガ、此利益ヲ得ルノ場合ニ將來ノ負擔ヲ幾分か輕クスルト云フ理ニ當ルノデアルト云フコトヲ申上ゲタ、所ガ段々ニ金ノ儲カタナラフ以テサウシテ之ヲ減稅ノ材料ニスルト云フコトヲカキリト仰ッテ居ルガ、是ハ餘程間違ヒカ、サモナケレバ故意ニ仰シヤッタデハナイカトマデ疑ッテ居ル、左様ナ次第ヲ以テ——左様ナ考ヲ以テ築カレタ御論デアルトスルト、洵ニ私ハ遺憾千萬ニ存ズルデアリマス、デ私ノ茲ニ申上ゲルノハ何モ別ニ反對ヲスル理由ノ意味デハナイト云フノデ、殊更ニ又其議論ニ對シテ被是述ベルノ必要ハアリマセヌケレドモ、餘リニ此無方針デアルトカ、之ヲ此要求ヲ救フノ途ガナイデアルトカ云フコトヲ、苟モ容易ク出來得ベキコトヲ爲サザルガ如キ御論ヲ以テ充タサレテ居タノデアッテ、洵ニ事已ムコトヲ得ズシテ此一言ヲ申上ゲ置ク次第デアリマス

（拍手起ル）

○古谷久綱君 私ハ農商務大臣ニ質問ガアリマスガ（採決々々）又ハ「無用々々」「動議ガ出テ居リマス」又ハ「質問ハ宜イ」ト呼フ者アリ

○議長（島田三郎君） 質問ハ許シマス——古谷久綱君

○古谷久綱君 最モ簡單デアリマスカラ——唯今農商務大臣ノ熱心ナル御演說ヲ拜聴致シマシテ、此我國ノ鐵ノ將來ノ供給ニ付テ農商務省ノ御方針ヲ承ッテデアリマスガ、ツレニ依リマスルト先ツ枝光製鐵所ノ擴張ト云フモノハ、此度ノ二期ヲ以テ打ちリニスル、モウ是カラ先キハ枝光製鐵所ト云フモノハ擴張ヲシナイ、即チ民業ノ獎勵ヲスルト云フ御話ヲ承ッテデアリマス、左様デアリマシタデゴザイマセウ、ツレデ其獎勵ノ方法トシテハイロ／＼アルト唯今御話ニナッタノデアル、第一ハ資金ノコト、其次ハ鑛石ノコトデアリマス、其次ハ技術上ノコトデアリマス、所謂技術トカ設計トカ云フコトデアル、此資金トツレカラ鑛石トサウシテ此技術上其二三ノコトニ付テ、農商務省ハ獎勵ヲスル積リデアルト仰シヤッタヤウニ承ッテデアリマスガ、果シテ左様デゴザイマセウカ、サウ致シマス（ト云フ）譬ヘバ鐵ノ事業ヲ致シマスル會社ヲ新タニ設クル者ガアリマシタナラバ、農商務省ハ之ニ對シテ補助ノ利子デモ御遺リニナル御方針ガ既ニ決定ニナッテ居ルノデアリマセウカ、ツレカラ次ハ鑛石ノコトニ付テ其援助ヲスル獎勵ヲスルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ具體的ニ如何ナル事ヲ爲サル御考デアルノデアルカ（無用々々）ト呼フ者アリ）是ハ餘程大事ナコトデアルト思ッテ居ル、ツレカラ第三ハ或ハ技術ヲ枝光製鐵所ニハ經驗ノアル技師ガアルカラ是ハドウスルト仰シヤッタカ、私ハ能ク分リマセヌデゴザイマシタガ、或ハ之ヲ民間ノ會社ニシテモ貸シテヤル御考デアルノデアルカ、ツレカラ設計ノ上ニ付テハ若シ設計書デモ枝光ノ製鐵所ニ持ッテ參リマシレバ——是ハ見テ下サルノデアリマスガ、此邊ノコトハ最モ具體的ノ御話ヲ私ハ將來ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス（「委員會デ」「委員會ノ速記録ヲ見ルベシ」「無イ」ト呼フ者アリ）

○農商務大臣（河野廣中君） 此御尋ノ資本ヲ政府カラ補助スルカト云フ——先刻

第五 農會法中改正法律案(齋藤宇一郎君外九名提出) 第一讀會

農會法中改正法律案

農會法中左ノ通改正ス

第一條ノ三 農會ノ經費ハ市町村農會ニ在リテハ會員ノ負擔トシ其ノ他ノ

農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ負擔トス

市町村農會ノ經費又ハ過意金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ市町村農會長

ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於

テ市町村農會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモ

ノ徵收金ニ次クモノトス

附則

本法ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(井原百介君登壇)

○井原百介君 農會法ノ改正法律案ヲ提出致シマシタ一人トシテ簡單ニ御説明ヲ

申上ゲマス、此案ハ御覽ノ通りニ多數ノ賛成者ヲ有テ居ルノデアリマス、又提出者並

ニ賛成者共ニ各派ニ亘リテ居ルノデアリマス、餘リ此處ニ喋々申上ゲナクとも大抵御

分リニナッテ居ルコト、考ヘルノデアリマス、頗ル簡單ニ申上ゲマス、此案ハ結局農會

ノ會費ヲ徵收スル場合ニ當リテ、滯納者ニ對シテハ強制徵收ヲシテ貰ヒタイト云フ意味

ナルノデアリマス、今日迄ノ狀況ヲ詳シク申上ゲルトイロく、時間モ要シマス、免モ

角モ今日迄ハ此徵收ガ非常ニ困難ナルガタメニ、或ハ町村ヲ以テ之ヲ補助スル或ハ

郡費ヲ以テ補助シ府縣費ヲ以テ會費ヲ補助スルコトニナッテ居テ、其實農會ノ

費用ト云フモノハ殊ニ町村ニ在リテハ殆ド無イノデアリマス、元來一ツモ無イ會費ノ費用

ニ對シテ補助スルコト云フコトハ、既ニ實ニ誤リテ居ルコトナリカト考ヘルノデアリマス、

已ムヲ得ズ會費ノ無イ所ヘ補助ト云フ名義ヲ以テ町村費ヲ以テ之ヲ補助シ、ドウカ斯ウ

カ凌イテ居ルコト云フ有様デアリマス、斯クテハ農會ノ事業ト云フモノハ發達スル見込ガド

ウセナイノデアリマス、故ニ相當ノ點マデハ會費ヲ必ズ農會會員ニハ出サセル、ソレヲ出サセ

ル以上ハ之ヲ強制徵收スル、已ムヲ得ズ場合ニハ強制徵收ヲシタイト云フコトノ案デ

アルノデアリマス、此案ハ過日來一ノ大問題トナッテ居リマス、コノ商業會議所ノ改正

案ト稍、同シヤウナモノデアリマス、併シ是トハ全ク沒交渉アルノデアリマス、商業會

議所ニ對シテ斯ノ如キモノガ出タカラ、吾々ハ農會ニ對シテモ出シテ貰ヒタイト云フ意味

デハ決シテナイノデアリマス、此徵收ノ方法ハ是非實行シテ貰ハナケレバナラヌト云フコト

ヲ農會カラ持出シテ居ルノハ、今日カラ遡テ考ヘマス、最早十四五年ニナルノデ

アリマス、明治二十二年農會法ト云フモノガ出來マシタ、其翌年頃カラドウシテモ是ハ

斯ウ云フコトニナル以上ハ、法律決定メラル以上ハ、必ズ會費ノ徵收方法ヲ確ニシテ

貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ、當局者ニ迫ッタノガ十四五年ニ亘リテ居ルノデアリマス、

決シテハ昨今出タ問題デハナイノデアリマス、併シ承ル所ニ依リマス、商業會議所ノ

場合ニ於テモ、ドウカ此意味ニ於テ農會ニ對シテモ此徵收方法ヲ實施シテ貰ヒタイト云

フ意味ニ於テ、質問モ多々アッタヤウデアリマス、採決ノ場合ニ於テモ、採決ノ以前ニ

商業會議所徵收方法ヲ農會ニモ採用シテ貰ヒタイト云フヤウナ希望モアッタヤウニ伺ッテ

居リマス、斯ウ云フ關係ヲ申シマス、全ク物好キニ起ッタカノ如ク御考ヘニナル御方モアル

私ガ資本ノコトニ付テ申上ゲタト申シマス、資本ニ付テハ私ハ申上ゲマセヌ、左様……

○古谷久綱君 獎勵ト云フ意味ヲ……

○農商務大臣(河野廣中君) 獎勵ト云フコトノ途ハ即チ鑛石ノ量ヲスツカリ調ベシ、

ソレカラ設計ヲ爲スニ付テノコトヤ、或ハ技術ノ養成其他ニ付テ及ブゲノ力ヲ注グ、資

本ト云フコトニハチヨットモ觸レテ居リマセヌカラ或ハ補助スルモセヌト云フ、是ハ資本ノ

コトハ除ケテアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ設計ニ付テノ即チ企業ヲシテ

之ヲ斯様ニ致ス積リテアル、此場所ニ斯様ナコトヲ積リテアルト云フコトニ對シテ設

計等ノコトノ御考ガアッテ、若クハ十分ナコトガアル、多少ノ裨補スル所ガアルト云フ考

ヲ以テ、製鐵所ノ方ヘ御廻シ御相談下サリマス、必ズ應ジテ自ラ信ズル所ヲ御答ヲ致

スヤウニスルコトハ無論ノコト、存ジテ居リマス、其事ヲ申上ゲマス、ソレカラ鑛石ノコ

トハ——チヨット鑛石ニドウ云フコトノ御話デアリマス、カチヨット……

○古谷久綱君 私人同ヒマシタノハ鑛石ニ關係スルノ獎勵ト農商務大臣ノ仰シヤル

ノハ如何ナル意味デ仰シヤルノデアルカ、唯今ノ御話ニ據ルト實際上調査スルコト云フヤ

ヲニ承リマシタガ、ソレニ承ッテ宜イノデアリマス

○農商務大臣(河野廣中君) 鑛石ノ方ニ對シテハ、是レガ技術ヲ派シテ現ニ調ベテ

居ルノデ、各地日本乃至朝鮮滿蒙其他ニモマダアルノデアリマス、是ハ其通リテ宜シウ

ゴザイマス、調ベテアリマス、調ベテアリマス、ケレドモ尙之ヲ完了致シタク存ジテ居リマス、

即チモウ少シ其上ニ調ベテ居ルノデ調査ヲ完了致シマシタ、サウシテ大ニ企業家ノ便ヲ圖

リタイト云フ考デ鑛石ニ對シテハ……(宜シイ)分リマシタト呼フ者アリ

○古谷久綱君 サウシマス、云フト農商務大臣ノ鑛石ノ民業獎勵ト云フ御考ハ、資金

ノ事ニハ一切觸レルノデハナイ、鑛石ノコトハ段々調査スルノデアル、而シテ設計等ノコ

トハ持ッテ行ッタナラバ見デヤルト、是位ノ獎勵ノ御考ト承ッテ宜イノデアリマス

○農商務大臣(河野廣中君) アナタノ御尋ハ資金ヲ補助スルコト云フコトデアリマシタ

ガ、其資金ト云フモノハ私ノ議論中ニ——演說中ニ其事ハ申上ゲナイト云フノデアリマ

ス、是ハ資金ニ關シテハ助成スルモセヌトモ其事ヲ一向申上ゲマセナカッタ、所謂私ノ

述べタコトヲ御間違ヒニナッタンデアルカ、御聞取リニナッテ居ッタナラバ私ノ言違ヒカ知ラ

ヌガ、資金ニ對シテ言ハヌノデ、ソレカラモウ一ツハ之モ申述ベテ置カヌケレバナラヌト云フ

ノハ、官業ト云フ此枝光製鐵所ノ第三期ノ擴張ヲ致シタナラバ、是デ官營トシテ枝光

ノ擴張ヲスルトカ云フコトハ致シマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ(分リマシタ)ト呼

フ者アリ)宜シウゴザイマセウカ、ソコデ一方ニハ官營ノ即チ委員會ガ之ヲ官營ニスルヤ民

營ニ移サヌト云フ委員會が開ケタノデアル、ソコデ此委員會ノ決定ヲ俟タンケレバナラヌ

ノデアル、官營民營若クハ半官半民等ニ付テハ御答致シマセヌト申上ゲテ置キマス、枝

光ノ製鐵所ヲ第三期第四期第五期ト擴張スルヤ否ヤト云フコトハ、即チ第二期ヲ以テ

打切リ積リテアルト斯ウ申上ゲタノデアリマス

(明瞭ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒ

マス

起立者 滿場

○議長(島田三郎君) 全會一致ト認メマス、可決確定致シマシタ、日程第五、農會

法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス——提出者井原百介君

アリマセウガ、今申シマス通りノ經歷ヲ有テ居ル此案デアルノデアリマス、ドウカ今日ノ場合何ゼシナケレバナラスト云フヤウナ詳シイ理由ハ申上ゲナクテモ既ニ御承知ノコト、思ヒマスガ、若シ之ヲ申上ゲル必要ガアルト云フコトデアルナラバ申上ゲテモ宜イガ、多分必要ハアルマイト考ヘマスカラ(「委員會委員會」ト呼フ者アリ)申上ゲマセウガ、或ハ委員會ニ於テ又更ニ申上ゲル場合ガアルヲウト考ヘマス、ドウカ滿場一致ノ御賛成ヲ以テ成立スルヤウニ御審議アラムコトヲ願ヒマス

○福田又一君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託シ審査セシメラレンコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第六、賣藥法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長綾部惣兵衛君

第六 賣藥法中改正法律案(小西和君提)

第一讀會ノ續(委員長)

(綾部惣兵衛君登壇)

(拍手起ル)

○綾部惣兵衛君 賣藥法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ極メテ簡單ニ御報告致シマス、本案ハ小西君ノ御提出ニ係ル案デゴザイマシテ、現行賣藥法第六條「藥劑師、藥劑師ヲ使用スル者又ハ醫師ニ非サレバ賣藥ヲ調製シテ販賣スルコトヲ得ズ」斯様ニアリマス、第六條ニ對シテ「但シ獸醫ニシテ家畜用ノ賣藥ヲ調製販賣スルハ此ノ限ニ在ラズ」此但書ヲ加ヘタイト云フノガ御提案ノ趣意デアリマス、委員會ニ於キマシテハ内務省及農商務省ヨリ政府委員ノ出席ヲ請ヒマシテ、質問應答ヲナシマシタル結果、本案ハ原案ノ如ク可決致シタノデアリマス、此段御報告致シマス

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ガゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 發議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 是ニ付テモ御異議ナイト認メマス、第二讀會ヲ開クニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

賣藥法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ナイト認メマス、依テ可決確定致シマシタ、日程第七及第八ハ同一委員ニ付託シタ議案デアリマス、依テ便利ノ爲メ一括シテ委員長ノ報告ヲ求メタイト思ヒマス、御異議アリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 一括シテ委員長ノ報告ヲ求メマス、第一讀會ノ續デアリマス、黒須龍太郎君

第七 質屋取締法中改正法律案(黒須龍太郎君外四名提出)

第一讀會ノ續(委員長)

第八 古物商取締法中改正法律案(米田實君提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(黒須龍太郎君登壇)

○黒須龍太郎君 簡單ニ御報告ヲ致シマス、御手許ニ廻ハシテアリマスヤウニ修正ニナッテ居リマス、是ハ委員會全會一致可決シ、政府ニ於テモ異議ナキトコロノ修正デアリマス、是ダケ申上ゲタナラバ大抵宜カラウト思ヒマスガ(「宜シイ」ト呼フ者アリ)別ニ是デ宜シイト云フコトナラバ報告ハ略シテシマヒマス(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)「簡單明瞭」ト呼フ者アリ)唯今ノ説明ガ第七ト第八ニ通ジテノ説明トドウゾ御承知ヲ願ッテ置キマス、ウレデハ是ダケニ致シテ置キマス

○議長(島田三郎君) 採決ハ別々致シマス、先ヅ質屋取締法中改正法律案カラ決ヲ採リタイト思ヒマス、本案ニ付テ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

質屋取締法中改正法律案

第二讀會(確定議)

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ説ニ御異議ハアリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ本案ハ委員長報告通リ可決確定致シマス、次ニ古物商取締法中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決確定アラシコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

古物商取締法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ御説ニ御異議ハナイト認メマス、依テ本案ハ委員長報告通リ可決確定致シマシタ、日程第九實用新案法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長田中喜太郎君

第九 實用新案法中改正法律案(津末良介君外三名提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(田中喜太郎君登壇)

○田中喜太郎君 實用新案法中改正法律案ノ特別委員會ノ結果ヲ極ク單簡ニ報告致シマス、本案ハ實用新案權カ短イ故ニ之ヲ今少シ延長シテ貴ヒタイト云フ案デアリ

マス、ツレカラ「第十四條ノ第二項ヲ左ノ如ク改ム」ト云フ中ニ「第二回ノ延長ニ在リテハ金八十圓ヲ納付スベシ」ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ提出者カラ「六十圓」ト云フコトニ訂正サレタノデアリマス、ドウツサウ云フコトニ御直シ願ヒマス、特別委員會ニ於キマシテハイロ／＼質問モ出テ又政府委員カラモ答辯ガゴザイマシタガ、結局本案ノ通り委員會ニ於テ可決致シマシタ次第デアリマス、ドウツ満場一致ヲ以テ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 念ノタメニ申シマス、唯今報告中ニアリマシタ「八十圓」トアルノヲ「六十圓」トシタノハ印刷上ノ正誤ダト云フコトデアリマス、念ノタメニ申シテ置キマス、本案ニ付テ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

〔「賛成々々」ト呼フ者アリ〕

實用新法案中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ハナイト認メマス、依テ福田君ノ說ノ通り本案ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ、日程第十、蠶絲業振興發達ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者今西林三郎君

第十

蠶絲業振興發達ニ關スル建議案(今西林三郎君外二名提出)

蠶絲業振興發達ニ關スル建議案

蠶絲業振興發達ニ關スル建議案、本案ハ「明治四十四年五月一日付農商務省令第二十一號ニ基キ蠶絲業振興發達ノ方策トシテ大正五年度ヨリ向十箇年ニ互リ桑園改良増殖獎勵費トシテ適宜支出セラレムコトヲ望ム」トスルヲ案デアリマス、本案ヲ提出致シマシタ理由ハ文書ニ認メテゴザイマスルカラ、既ニ皆樣ニ於キマシテハ御覽濟ノコト、存シマスカラ、之ニ付テハ説明ヲ省略致シマス、此部分以外ニ此書面ニ書キ漏シマシタコト並ニ少シク敷衍ヲ致サネバナラスコトガアリマスカラ、極ク簡單ニ説明ヲ致シタイト思ヒマス、第一我國ニ於キマシテ貿易事業中最モ重要視セラレ、所ノモノハ紡績事業ト蠶絲事業デアリマス、此二大事業中一ハ輸入貿易デアリ一ハ輸出貿易デアリマス、全ク正反對ノ事業デアリマス、是ガ各一億五千萬圓ニナッテ居リマス、此大事業アルノニ輸入貿易ハ正貨ヲ外國ニ拂フ事業デ、輸出貿易ハ正貨ヲ外國カラ取寄セル事業デアリコトハ、是ハ私ガ申上ゲルデモナク諸君ノ御承知ノ通りノコトデアリマス、此兩者ニ對シマシテ政府ハ從來如何ナル方針ヲ執ッテ居ッタカ、

〔今西林三郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○今西林三郎君 蠶絲業振興發達ニ關スル建議案、本案ハ「明治四十四年五月一日付農商務省令第二十一號ニ基キ蠶絲業振興發達ノ方策トシテ大正五年度ヨリ向十箇年ニ互リ桑園改良増殖獎勵費トシテ適宜支出セラレムコトヲ望ム」トスルヲ案デアリマス、本案ヲ提出致シマシタ理由ハ文書ニ認メテゴザイマスルカラ、既ニ皆樣ニ於キマシテハ御覽濟ノコト、存シマスカラ、之ニ付テハ説明ヲ省略致シマス、此部分以外ニ此書面ニ書キ漏シマシタコト並ニ少シク敷衍ヲ致サネバナラスコトガアリマスカラ、極ク簡單ニ説明ヲ致シタイト思ヒマス、第一我國ニ於キマシテ貿易事業中最モ重要視セラレ、所ノモノハ紡績事業ト蠶絲事業デアリマス、此二大事業中一ハ輸入貿易デアリ一ハ輸出貿易デアリマス、全ク正反對ノ事業デアリマス、是ガ各一億五千萬圓ニナッテ居リマス、此大事業アルノニ輸入貿易ハ正貨ヲ外國ニ拂フ事業デ、輸出貿易ハ正貨ヲ外國カラ取寄セル事業デアリコトハ、是ハ私ガ申上ゲルデモナク諸君ノ御承知ノ通りノコトデアリマス、此兩者ニ對シマシテ政府ハ從來如何ナル方針ヲ執ッテ居ッタカ、

又今日モ如何ナル方針ヲ執ッテ居ルカト云フコトニ付テ申シマスル、紡績事業ニ對シマシテハ其原料トシテ輸入スル棉ノ輸入税約一千二百五十萬圓ト云フ莫大ナル金額ノ免除ヲシテ居ルノデアリマス、然ルニテス、蠶絲業ニ對シマシテハ國庫ヨリ如何ナル補助ヲ與ヘテ居ルカト申シマスル、僅ニ明治四十年ヨリ桑園改良増殖費ト云フ名儀ノ下ニ八萬圓ヅ、年々下附スルコトニシタノデアリマス、然ルニ大正三年度ニ到リマシテ財政整理ノタメトシテ之ヲ七萬五千圓ニ減ジ、尙大正四年ニハ之ヲ四萬二千圓ト約半額ニ減ジタノデアリマス、剩ヘ地方費ニ於キマシテ明治四十一年ニハ二十萬三千二百六十七圓ト云フ金額ヲ桑園増殖費ニ支出シテ居ッタノデアリマス、所ガ是亦大正二年ヨリ十四萬一千六百八十四圓ニ減額セラレタノデアリマス、然ルニ紡績事業ノ方ハ棉花ノ輸入數量ノ増加ニ伴ヒマシテ、而モ其免除ノ金額ガ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、此狀況ヨリ見マスルト政府ノ保護方針ハ紡績事業ニ特ニ厚クシテ、蠶絲業ニハ甚ダ冷淡デアルト言ハナケレバナリマセヌ、輸入防遏輸出獎勵ナド、頻ニ唱ヘラレテ居リマスガ、實ハ唯今述ベマシタ通りデ、全ク輸入獎勵輸出防遏ト云フヤウナ形ヲ爲シテ居ルノデアリマス、併シ私共ハ決シテ棉花ノ輸入免除ヲ非難スルモノデナイト、抑、此棉花ノ輸入税ヲ免除シテ貴ヒタイト云フコトハ、吾ハ主張シタ一人デアルノデ、棉花ナルモノハ加工シマシテ再ビ海外ニ輸出スルモノデゴザイマスカラ、輸入品ノ防遏ヲ致シ且輸出ヲ増進スルコトニナルノデアリマスカラ、無論ハハヤラネバナラスコト云フコトデ今日マデヤッタデアル、然ルニ現今ノ狀態ヲ見マスル、棉花ハ二億五千萬圓ト云フ輸入總額ノ内デ加工シテ、之ヲ再ビ輸出セラル、モノハ其二割僅ニ五千萬圓位ノモノデアル、其五千萬圓ニ加工セラレテサウシテ、ツレガ七八千萬圓ニナッテ出ルノデアリマス、二千萬圓程ノモノハ全ク加工品トシテノ利益デアルノデアリマス、サウ致シマシテ今日迄輸入シテアリマスモノハ最早幾ド絶滅致シテ、今日ハ瓦斯絲ト申シマシテ、最モ細カイ絲ガ少シバカリ入リマスノデ棉花ハ更ニ輸入致シマセヌ、又綿布モ幾ド外國ノ輸入ト云フモノハ無イコトニナッテ居ル、現ニ彼ノ寒冷紗ト申シマスル最モ薄イ木綿ナドモ日本デ出來ルヤウニナッタノデアリマス、サウシテ紡績會社ノ事業成績ハドウデアルカト申シマスル、實ニ素晴らしい勢ヒデ一割ニ三割四割其ノ上ニ大變ナ積立金ヲ致シテ居ル、所ガ一方ノ蠶絲業ハドウデアルカト云フ、年々據リマシテ今年ノ如キハ非常ニ絲ガ高ク賣レマスカラ利益ヲ得テ居リマスガ、現ニ昨年ノ如キハ幾ド地方ニ依リマシテハ全滅致シテ居ル處ガアル、サウ云フ工合デ此兩者同ジ輸出輸入貿易デ金額モ幾ド似奇ッタ額デアルニモ拘ハラズ、甚ダ政府ノ之ニ對スル態度ガ不公平デアルト私ハ思フノデスツレバ棉花ノ方ハ唯今申シマスル通り非常ナ利益ヲ得テ居ル、且年々増加致シテ居ル、既往十箇年ノ統計ヲ見マスルト數量ニ於キマシテ一割八分累進シテ居ル、一箇年一割八分宛増シテ居ル、ツレカラ金額ニ於テハ二割三分増進致シテ居ル、此勢ヲ以テ參リマスルト、數年ヲ出マセズ致シテ何ニ億圓以上ニナルガラウト思フ、之ニ反シテ生絲羽二重「ハンケチ」屑絲等ノ輸出ニ至リマシテハ、僅ニ五分強ト云フモノガ増加致シテ居ル、今日迄ハ丁度生絲ヲ賣リマシタ金デ棉花ノ代金ヲ拂フト云フコトニナッテ居ッタノガ、追々棉花ノ方ガ多クナッテ來テ生絲其他ノ絹物類ノ輸出ノ代金デ棉花ノ代金ヲ拂フ(ナイト云フコトニナッテ、サウ云フ有樣デアリマス、ツレカラ此兩事業ニ從事スル所ノ別働者ノコトヲ一言申シテ見タイ、紡績事業ニ從事シテ居ル職工ノ數ハ大正三年五月末日調査ニ依リマスル十四萬九千餘人ニナッテ居ル、職工以外ニ幾何ノ人が關係シテ居リマスガ、是ハ判然トハ分リマセヌガ、假リニ職工ノ十分ノ一ト見マスル一萬五千人、之ヲ合セマスル十六萬五千人弱デアリマス、

然ニ蠶絲業ニ從事スル職工其他ノ人員ヲ統計シテ見マスルト、是モ實ハ統計ガアリマセヌカラ正確ナ數字ヲ示スコトハ出來マセヌガ、假リニ原蠶紙一枚ニ付テ一人ノ勞働者ヲ要スルモノト致シマス、サウ致シマスルト大正二年ニ於テ五百万人トナル、丁度原蠶紙ガ五百万枚ニナリテ居リマス、非常ナル數デアル、此人員ニ輸出金額ノ二億五千万圓ヲ割當テテ見マス、一人平均五十圓ノ割ニナル、ソレダケ外國ヨリ正貨ヲ得ル勘定ニナリテ居ル、此地ニ地蠶絲即チ内地用ノ生絲モ其等ノ人ガ製産ラシテ居リマスノデ、一人ノ平均ハマア少シ多額ニナリマス、茲ニ吾々ノ最モ喜ビマスコトハ、此事業ニ從事スル者ガドウ云フ人ガ從事シテ居ルカト申シマス、概ネ老幼婦女子、老人女子供デアル、此可憐ナル婦女子ノ細キ腕ヲ以テ年額二億五千万圓ト云フ巨額ノ正貨ヲ外國ヨリ取入レツ、アルノデアル、私ハ此ニ至リテ實ニ驚カザルヲ得ヌト思フノデアル、子供ヤ女老人、杖ヲ支イテ歩ク位ノ老人デモ此事業ハ出來ルノデアル、斯ウ云フ人ガ此事業ヲヤツテ外國ヨリ多額ノ金ヲ取入レテ居ルト云フコトハ、實ニ私ハ是ハ國家トシテ非常ニ喜バネバナラヌ、又之ヲ獎勵セシナラヌ事ト思ヒマス、殊ニ是ガ農家ノ副業デアル、之ニ全カヲ注イテ居ルノデナイ、他ノ農作ヲヤリマシタ餘暇ヲ以テヤルト云フデモ宜イノデアル、實ニ結構ナ事業デアルト私ハ思ヒマス、サウシテ紡績ノ事業ハ少數ノ職工ヲ以テ多數ノ仕事ヲスル、十餘萬人デ七八千万圓、ソレニ其他ノ仕事ヲ致シマスカラ何千萬ト云フ仕事ヲスルノデアルカラ、非常ニ是ハ良イ事業デアルト云フ說モアリマス、如何ニモ其通りデアリマス、其代リ莫大ナル資本ヲ要スルノデ、而モ其資本ノ大部分ガ幾ノ機械代トシテ外國ニ往ッテシマフノデアル、大正三年末ノ調査ニ依リマス紡績ノ固定資本トナリテ居リマスモノガ凡ソ二億圓アル、其二億圓ノ金ガ働イテ居ルノデアル、昨年ハ一層増加シテ居ルト思ヒマス、是ハ大分以上ニナリテ居リマス、マダ一億圓以上ニナリテ居リマス(委員會會デ願ヒマス)「簡單ニ願ヒマス」「ヤルベシ」「分リマシタ」ト呼フ者アリ「御分リニナリマシタナラバ何レ此問題ハ委員會ニ付セラレト思ヒマスカラ、委員會ニ於キマシテ尙十分述ベマスガ、唯此處ニ結論ヲ申上ゲマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)政府ハ此蠶絲業ニ對シテ特殊ノ保護ヲ與ヘ之ヲ獎勵シテ、少クモ一箇年一割以上ノ増加ヲ爲サシムルニ於テハ、二十箇年ニ二億六千八百餘萬圓ニナルト思ヒマス、一年ニ一割宛増進シテ行キマス、現在ニ於キマシテ五分増シテ居リマスカラモウ五分増セバ宜イ、モウ五分宛増シテ參リマス、二十箇年ニ二億六千八百萬圓ニナルト思ヒマス、私ハ是ハ決シテ難事デナイト思ヒマス、現ニ紡績絲ガ二割三分ノ發達ヲ致シテ居リテ其品物ガズン、捌ケテ賣レテ行キマス、サウ云フコトデアリマスカラ此五分ヲ増スコトハ何等差支ナイ、サウ云フ考デアル、ソレカラ終リニ望ミマシテ尙一言申シマスガ、蠶絲業ヲ大ニ發達ヲ致シマスルトキハ山間僻地ノ職業ノ無イ者マデガ職ニ就クト云フコトニナル、悉ク有利ナル事業ヲ與ヘテ、是等ノ者ノ勤勉ナル氣風ヲ養成スルト云フコトニナル、サウシテ一面ニハ浪費ヲ省クト云フコトニナリ風紀ヲ改善スルト云フコトニナル、ソレダケ其結果トシテ社會政策上最モ有利ナル最モ其一端ニナルト私ハ思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ衛生上カラ申シマス、紡績會社ノ職工ノ健康狀態ト云フモノハ非常ナモノデアル、死亡率ガ非常ニ多イ、トコロガ養蠶製絲ノ職工ト云フモノハ少シモ普通ノ農家ノ人々ト違ヒガナイ、ソレ等ハ大ニ政策トシテ考ヘネバナラヌト存ジマス、マダ申上ゲタイコトモアリマスガ是デ止メマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○福田又一君 本案ヲ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

(「贊成」異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ガナイト認メマス、依テ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十一、三國港護岸施工ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス——提出者名村忠治君

第十一 三國港護岸施工ニ關スル建議案(名村忠治君外三名提出)

三國港護岸施工ニ關スル建議案
三國港護岸施工ニ關スル建議案

三國港ハ曩ニ國庫ノ改修ニ係ル九頭龍川ノ河口ニシテ該川改修事業ノ奏效スルヤ一市三郡沿川地方積年ノ水害ハ一朝ニシテ免レ多ク功益ヲ收メタリト雖同改修事業ハ三國港港口ノ事業ヲ貽シタルヲ以テ同港ニ瀕シ聚落セル三國町街ハ年次ノ出水毎ニ漲溢ノ害ヲ被リ且港内土砂堆積ノ爲港床ヲ高メ船舶出入ノ便ヲ妨クルノ傾向アリ依テ政府ハ之ヲ適當ナル護岸工事ヲ設計シ其ノ窮狀救済ニ努メラレムコトヲ望ム

(「名村忠治君登壇」)
(「ドウカ簡明ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○名村忠治君 極メテ簡單ニ本案提出ノ理由ヲ説明致シマス、三國港ノ護岸ヲ施工シテ貫ヒタイ、サウシテ此水害ヲ除キタイト云フコト、一ハ此河底ニ堆積シテ居ルトコロノ土砂ヲ排除シテ、船舶ノ出入ニ便利ヲ與ヘルト云フコトガ目的デ、此九頭龍川ハ國庫支辨ヲ以テ河身改修ガ出來マシタノデ、本流ハ河身改修ヲ終リテ居リマス、目下支流ノ改修ヲヤツテ居リマス、トコロガ此三國港ノ方ハ改修ノ曉ニハ水位ガ低マテ水害ヲ受ケナイト思フテ居リマス、然ルニ改修後去ル大正元年ニハ洪水ガ出マシテ非常ナ被害ヲ受ケタノデアリマス、ソレデ此本案ヲ提出シタ譯デゴザイマス、ドウカ滿場諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○福田又一君 本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、依テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十二、取引所令中改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス——提出者加賀卯之吉君

第十二 取引所令中改正ニ關スル建議案(加賀卯之吉君外一名提出)

取引所令中改正ニ關スル建議案
取引所令中改正ニ關スル建議案

大正三年六月二十七日勅令第三百三十七號ヲ以テ公布セラレタル取引所令中定期買買取引ノ單位百石ヲ五十石ニ、仲買人身元保證金最低額五千圓ヲ三千圓ニ改メラレムコトヲ望ム

（加賀卯之吉君登壇）

○加賀卯之吉君 私人建議致サウト思ヒマスルノハ取引所法デハナイ、取引所法令ノ第十六條ト第十三條ノ但書ヲ削除シテ戴キタイト云フ建議アルノデアリマス、事柄ノ大體ハ文書ヲ以テ諸君ノ御手許ニ出テ居リマスカラ、御一讀トサタコト、信ジマス、唯其文書ノ足ラザル所ヲ二三補ウテ置キタイ思ヒマス、而シテ農商務ノ當局者モ此處ニ御出ニナッテ居リマスカラ、能ク其趣意ヲ御聽取ヲ願ヒタイ思ヒマス、此改正ハ取引所法ノ改正ト同時ニ發布セラレタモノデアリマスガ、唯農商務省ノ机上ノ上テ理窟ヲ極メテ定メラレタル法令ナルガ故ニ、地方ハ參リマシテ實際土地ノ狀況土地ノ經濟狀態ニ適合シナイ、不合理ナ法令デアッタデアリマス、ソレデ實施以來直ニ當業者ノ反對ヲ買ヒマシテ、當業者ハ屢々當局ニ其事情ヲ訴ヘ、或ハ本院ニ向テ請願ヲ致シタコトモアリマス、ソレデ本院デハ之ヲ採擇致シマシタ、農商務省デハ其當業者ノ申請シタル意味ヲ取ツタト云フコトハ明カニハ申シマセヌケレドモ、地方ノ經濟狀態ガ未ダ其改正ヲ爲スベキニ足ルガケノ狀況ニ立至ッテ居ナイ、斯ウ認メルカラト云フノ一箇年間之ヲ延期スルコトヲ許シマシタ、サウシテ本年再ビ此請求ヲ致シマスルト、復來年ノ六月迄一箇年間之ヲ延期スルコトヲ許サレタデアリマス、稍、其希望ハ達シテ居ルデアリマス、極手短ニ申シマスルト全國ノ取引所ガ四十二アリマシテ、其中米ノ賣買ノミヲ以テスルモノハ二十九アルノデアリマス、其二十九ノ中デ米ノ賣買高ハ約二億一千萬石ノ賣買ヲ致スノデアリマスガ、其二億一千萬石ノ賣買ノ中デ東京大阪名古屋此三箇所殆ド一億石以上スル、他ノ二十六箇所デ一億石バカリノ商ヲ致シマシテ、全國二億一千九百萬石バカリノ賣買ガ出來マス、サウシテ東京大阪名古屋古屋ノ乃至ハ仙臺デモ乃至ハ酒田デモ熊本デモ佐賀デモ、殆ド同ノ法律ヲ以テ五千圓以上ノ身許金ヲ納メヨト命ジテ居ルデアリマス、然ルニ東京大阪ノ如キ大都會デハ今申ス如ク二一年二四八萬石大阪ハ四四五千五百萬石、東京ハ四四二二萬石、此多數ノ賣買ヲ致シマスカラ隨ッテ仲買人ノ身上モ大キクシナケレバナラヌ、身元保證金モ多クシナケレバナラヌト云フノデ、自身自ラ其事ヲ信ジテ身元保證金ヲ一萬圓ニ引上ゲテ居ルデアリマス、併シナガラ地方デハ僅ニ一年五十萬石或ハ百萬石デアッテ、地方デ最も多ク發達シタ所デモ四百萬石位ギリゴザイマセヌ、サウシテ此都會ノ取引所ハ名古屋アリデハ一千万石モ取引ノアルヤウニシロト云フノガ此法律ノ精神デアッタ、ソレガ甚ダ實際ニ適合シナイノデ、ソレカラ必ズシモ身元保證金ガ多イカラ仲買人ガ安全デアルト云フコトハ言ヘヌデアリマス、東京大阪デハ三萬圓ノ身元保證金ヲ持ッテ居テ、一度ソレガ破産スルト二十萬四十萬五十萬ト云フ災ヲ其顧客ニ與ヘテ居ル、第三者ニ與ヘテ居ル、田舎ノ取引所デ僅ノモノ、方ガ却テ眞面目ニ誠實ニ營業シテ居テ破産者ガ少イ、必ズシモ之ヲ同一ニ統一的ニシナケレバナラヌト云フコトハナイノデ、元ノ取引所條例ト云フ時分ニハ此等級ガ付テ居リマシテ、田舎ノ取引所ノ身元保證金ハ幾ラ、都會ノ方ハ幾ラトナッテ居タノガ、明治二十六年ノ改正ノ時ニ改マッタデアリマス、ソレデ是ハドウシテモ地方ノ狀況ニ適合スルヤウニ變ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フノガ其第一項デアリマス、第二項ハ此取引所條例ノ第十三條ノ但書ノ中ニ、取引所ニ於ケル賣買ノ單位ハ米ハ百石株ハ十枚、斯ウ云フコトヲ以テ單位トシロト云フコトガ命ジテアルデアリマス、是ハ全ク机上ノ空論デ、此制定者ノ如キハ斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、取引所ノ賣買ハ百石單位デナケレバナラヌ

ト云フケレドモ、客カラ注文ヲ取ルトキハ十石デモ宜イ、五十石デモ宜イ、五十石二十石三十石ト云フ賣買スル人ヲ集メテ百石ニシテ賣買スレバ足ルデハナイカト當局者ハ言ウテ居ル、是ガ役人ノ考デ、商賣人ノ考デハナイデアリマス、成程三人集メテ二十石三十石五十石ヲ集メテ百石ノ賣買ハ出來ルデアリマスケレドモ、サウ云フコトハ實際ニ適合シナイノデ、出來得ルコトデハナイデアリマス、ソレヲ無理ニ強テシロト云フノデ、然ラバ延期ヲ願フト云フコトニナッタ、農商務省モ大ニ見ル所ガアッタカ暫ク實行ヲ延期シテ居ル、ケレドモ年々其延期ノ出願ヲシナケレバドウシテモ許シテ呉レナイ、ソレデ是ハ全ク地方ノ實際ノ狀況ヲ鑑ミテ、私共ハ或ハ酒田ノ如キ、或ハ熊本ノ如キ、其實買ノ狀況ニ鑑ミテ貰ヒタイ、十石單位ニシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ有ッテ居ルケレドモ、併ナカラドウモソレデハ政府ガ容レヌ按排アルカラ五十石ト限ッテアルデアリマス、此改正ハ全ク地方ノ經濟狀態ニ據リ、地方ノ取引ノ賣買ニ鑑ミテ斯樣ニ改正シタイト云フ希望デゴザイマスカラ、各地方ニ廣ク關係ノアル問題デ、尙モ日常缺クベカラザル米ノ需給ニ大ナル影響ヲ及ボス問題デアリマスカラ、ドウカ御賛成アラントラ切ニ希望致シマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付記セラレムコトヲ望ミマス

○議長（島田三郎君） 福田君ノ議ニ御異議ハナイモノト認メテ議長指名九名ヲ委員ニ付託スルコトニ決シマス

○議長（島田三郎君） 日程第十三、第十四、第十五、第十六、是ハ何レモ提出者ヨリ延期ノ請求ガアリマス、御異議ハアリマセヌカ

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

○議長（島田三郎君） 延期ニ決シマス、日程第十七、淀川水利ニ關スル建議案

員多數ノ意見アリマシタ、結局本案ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○福田又一君 委員長報告通り

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナケレバ委員長報告通り決シマス

〔今日ハ是デ散會ヲ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 段々定足數ヲ缺クノ虞ガアリマスカラ、是デ散會致シマシテ、次ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ散會致シマス

午後四時三十八分散會

衆議院議事速記録第二十三號正誤

頁	段	行	誤	正
四九九	上	三	倉庫ヲ取ル	倉庫業ヲ取ル
			ホノト	
				五〇三
				下
				三五
				公領關係
				私有關係